

県民医療意識調査
報告書

令和8年2月

長野県健康福祉部

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 調査実施機関	1
6. 調査項目	1
7. 回収結果	2
8. 標本の誤差	2
9. その他	2
II 調査結果	3
1. あなた自身について	3
2. 病気にかかった場合について	5
3. かかりつけの医師について	16
4. かかりつけの歯科医師について	19
5. かかりつけの薬局について	22
6. 医療機関への受診について	25
7. 地域の医療体制について	28
8. 在宅での医療について	33
9. 人生の最終段階における医療について	40

I 調査の概要

1. 調査の目的

県民の保健医療に関する実態や意見を把握し、第8次長野県保健医療計画へ反映するとともに、地域医療介護総合確保基金事業の効率的な執行に活かし、安全で安心できる医療体制や質の高い医療提供体制の整備を図るための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の対象

18歳以上の長野県民 3,000名

(県内対象市町村の選挙人名簿および住民基本台帳より層化2段無作為抽出を実施)

3. 調査期間

令和7年12月から令和8年1月まで

4. 調査方法

調査票送付によるアンケート方式

5. 調査実施機関

長野県（委託先：株式会社東京商工リサーチ）

6. 調査項目

回答者の属性

病気にかかった場合について

かかりつけの医師について

かかりつけの歯科医師について

かかりつけの薬局について

医療機関への受診について

地域の医療体制について

在宅での医療について

人生の最終段階における医療について

7. 回収結果

回収数 1,652 通

回収率 55.1%

[圏域別回答状況]

	発送数	回収数	回収率
佐久圏域	300	140	46.7%
上小圏域	290	177	61.0%
諏訪圏域	290	161	55.5%
上伊那圏域	280	160	57.1%
飯伊圏域	260	141	54.2%
木曾圏域	170	101	59.4%
松本圏域	460	266	57.8%
大北圏域	190	99	52.1%
長野圏域	540	315	58.3%
北信圏域	220	89	40.5%
不明	-	3	-
合計	3,000	1,652	55.1%

8. 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

注) 信頼度 95% : 100 回同じ調査を実施したとき、概ね 95 回まではこの精度が得られることを示す。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \cong 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b : 標本誤差 (±小数ポイント)

N : 母集団 (人)

n : 標本数 (人)

P : 回答比率 (小数)

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差 (信頼度 95%の場合)

回答比率 (P) 標本数 n (箇所、人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

※上表は $(N-n)/(N-1) \cong 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注) 表の見方 : 例えば、ある設問の回答者数が 1,500 人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±2.48%ポイント以内 (57.52~62.48%) である、と見ることができる。

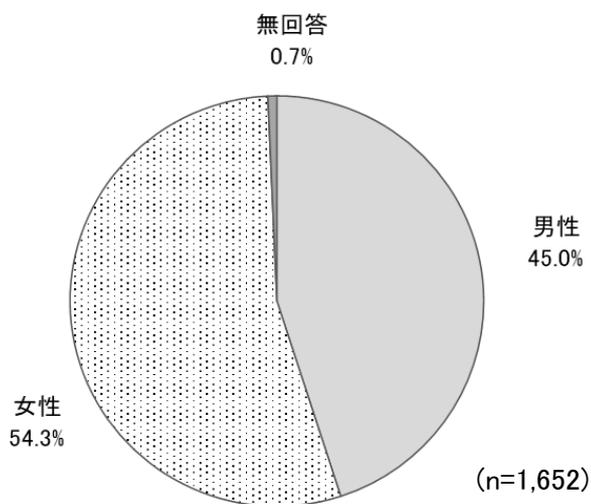
9. その他

構成比の合計は、四捨五入の結果 100.0 にならない場合がある。また、複数回答の場合は、100.0 を超える場合がある。

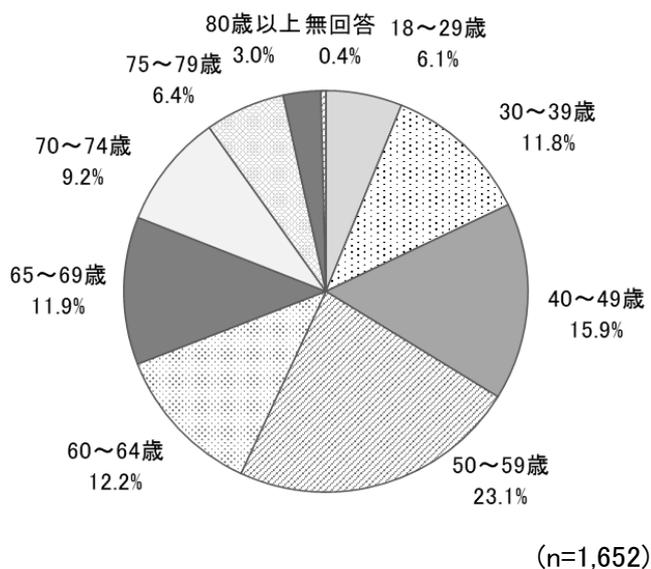
II 調査結果

1. あなた自身について

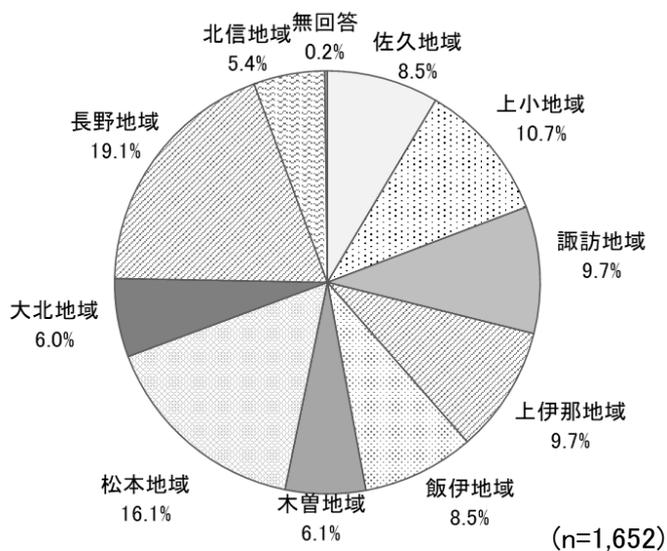
問1 あなたの性別を、お答えください。



問2 あなたの満年齢を、お答えください。



問3 あなたのお住まいの地域を、お答えください。

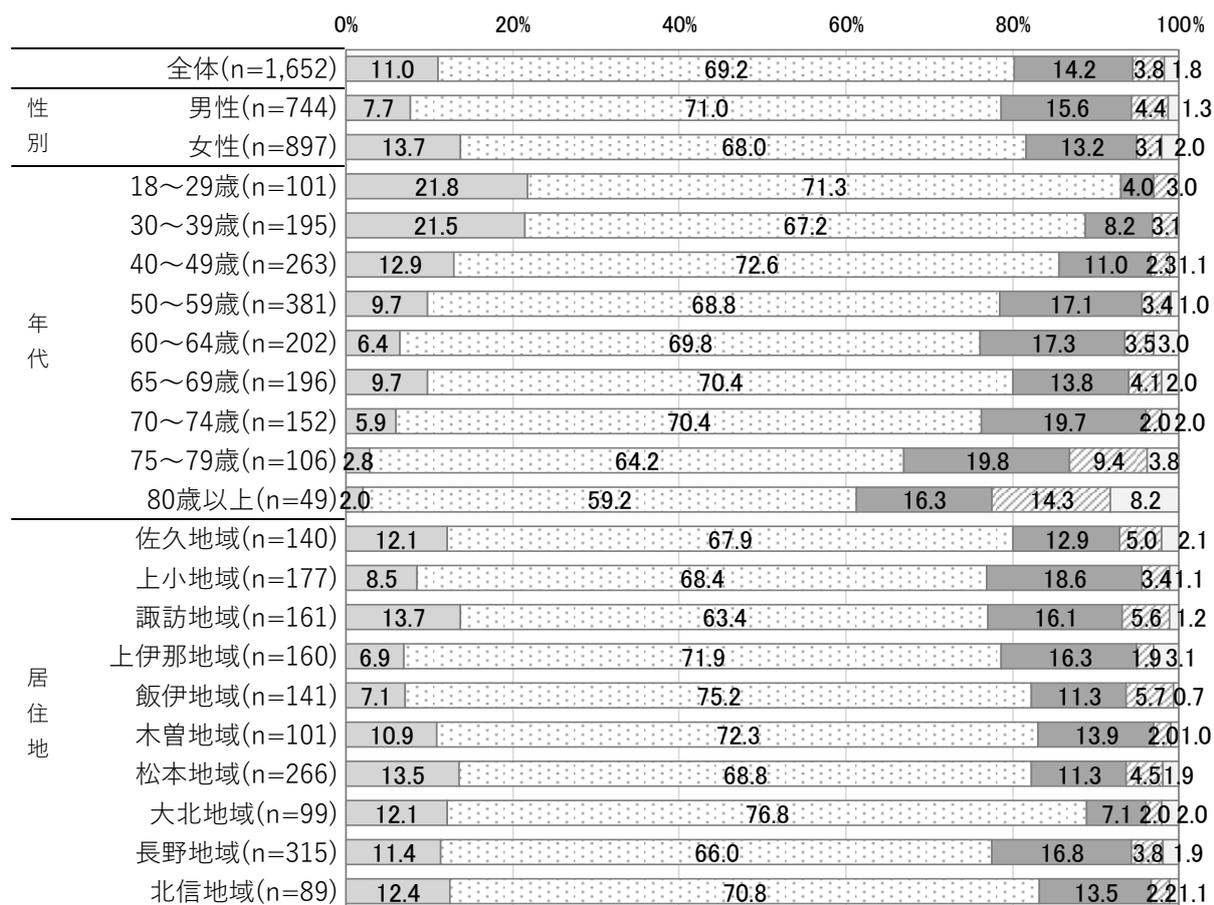


問4 あなたの現在の健康状態について、あてはまるものを1つお選びください。

現在の健康状態は、「まあ健康だと思う」(69.2%)が約7割と最も多い。次に、「あまり健康ではないと思う」(14.2%)、「とても健康だと思う」(11.0%)と続いている。

性別にみると、「とても健康だと思う」は、「男性」(7.7%)よりも「女性」(13.7%)の回答がやや高くなる。

居住地別にみると、すべての地域において「まあ健康だと思う」が6割を超え最も多い。次に多い回答としては、「松本地域」、「大北地域」では「とても健康だと思う」となっており、その他の地域では、「あまり健康ではないと思う」となっている。



- とても健康だと思う
- まあ健康だと思う
- あまり健康ではないと思う
- 健康ではないと思う
- 無回答

2. 病気にかかった場合について

問5 あなたが、もし体調が悪くて医師にみてもらいたいときどうしますか。次の中から、1つお選びください。

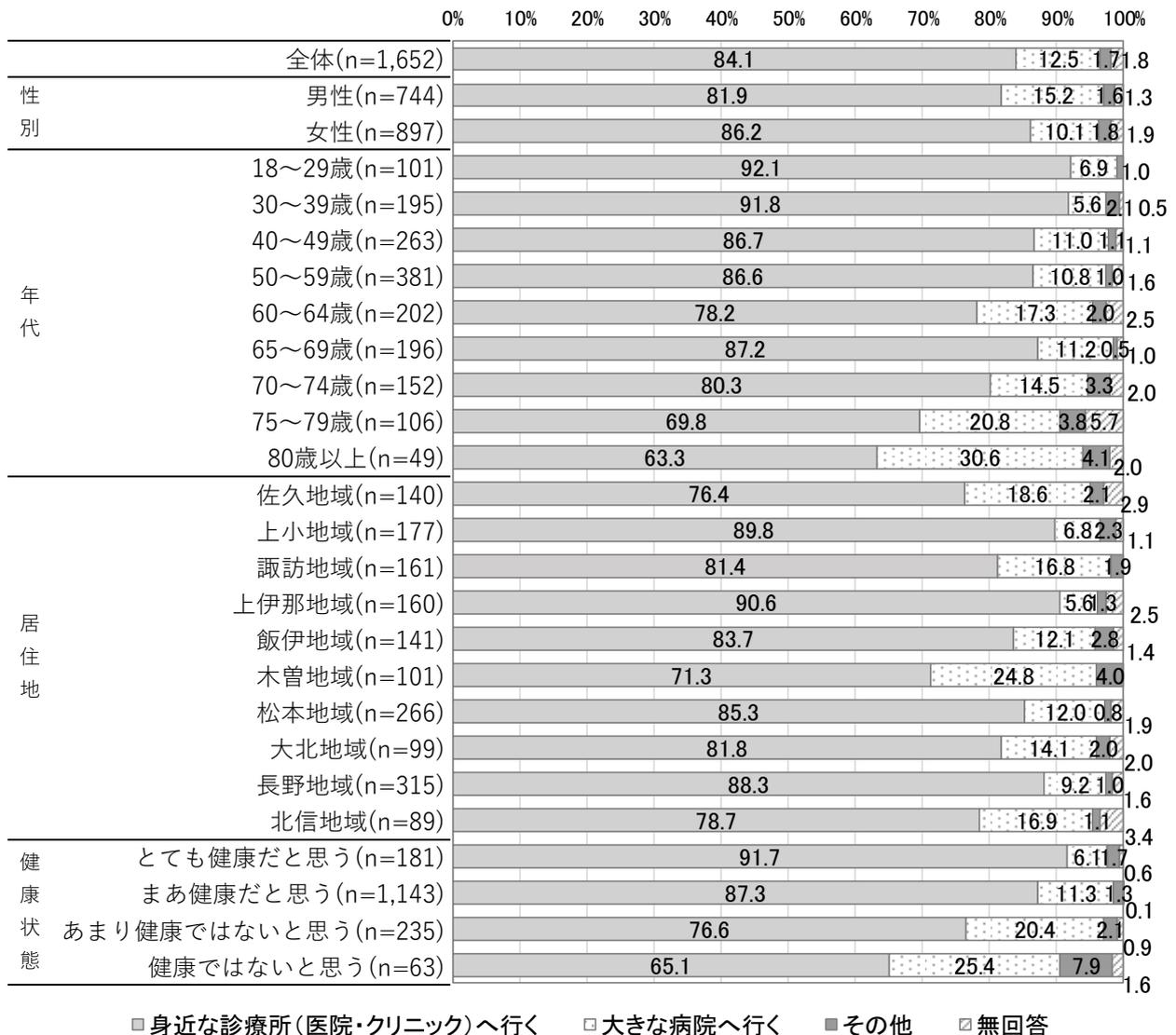
体調が悪く医師にみてもらいたい場合は、「身近な診療所（医院・クリニック）へ行く」（84.1%）が約8割と最も多い。次に、「大きな病院へ行く」（12.5%）となる。

性別にみると、「身近な診療所（医院・クリニック）へ行く」は、「男性」（81.9%）よりも「女性」（86.2%）の回答がやや高くなる。

年代別にみると、「身近な診療所（医院・クリニック）へ行く」は、39歳以下では9割を超えている。一方、75歳以上では6割台となり、「大きな病院へ行く」が2割を超えている。

居住地別にみると、「上伊那地域」では「身近な診療所（医院・クリニック）へ行く」が9割を超えており、その他の地域でも7割を超え最も多くなっている。一方、「木曽地域」（24.8%）では、「大きな病院へ行く」が2割を超えている。

健康状態別にみると、いずれも「身近な診療所（医院・クリニック）へ行く」が最も多いものの、「健康ではないと思う」（65.1%）では、6割台となっている。



問6 あなたは、「原則として紹介状が必要な医療機関」について知っていますか。次の中から1つお選びください。

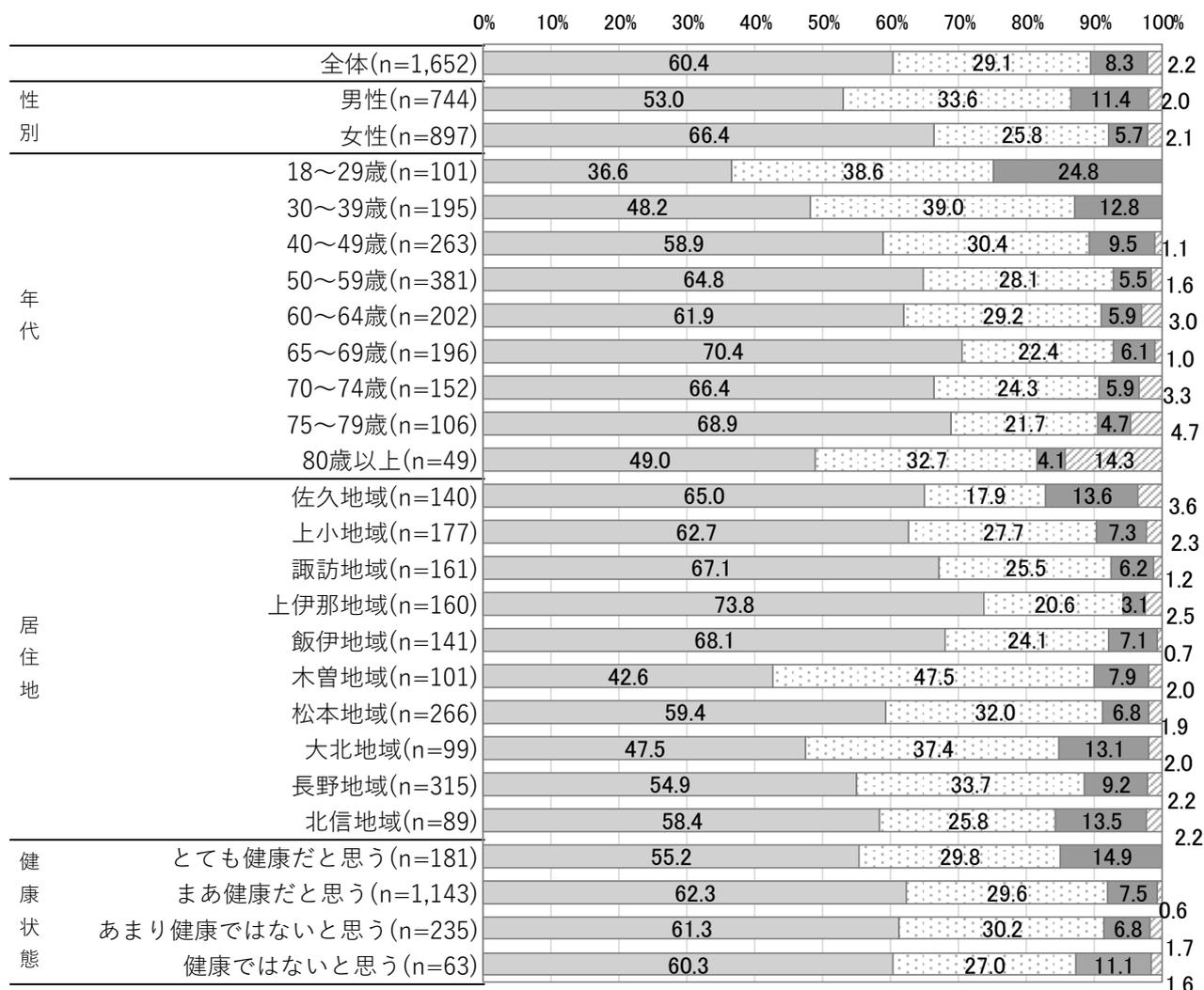
原則として紹介状が必要な医療機関については、「地域の病院のうち、どの病院が該当するか知っている」(60.4%)が約6割と最も多い。次に、「制度は知っているが、どの病院かはわからない」(29.1%)、「知らなかった」(8.3%)と続いている。「地域の病院のうち、どの病院が該当するか知っている」と「制度は知っているが、どの病院かはわからない」の回答割合の合計となる、制度を知っているのは89.5%となる。

性別にみると、制度を知っている割合は男女とも約9割となる。一方、「地域の病院のうち、どの病院が該当するか知っている」は、「女性」(66.4%)が「男性」(53.0%)よりも高くなる。

年代別にみると、30歳から79歳では、制度を知っている割合は約9割となる。一方、「18～29歳」(75.2%)と「80歳以上」(81.7%)では約8割となっている。

居住地別にみると、制度を知っている割合は、「佐久地域」(82.9%)で約8割と、他の地域のよりもやや低くなる。一方、「制度は知っているが、どの病院かはわからない」は、「木曾地域」(47.5%)で4割を超え、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、差は少ないといえる。



- 地域の病院のうち、どの病院が該当するか知っている
- 制度は知っているが、どの病院かはわからない
- 知らなかった
- ▨ 無回答

問7 あなたは、過去1年以内に「原則として紹介状が必要な医療機関」に紹介状を持たずに初診で受診したことがありますか。次の中から1つお選びください。

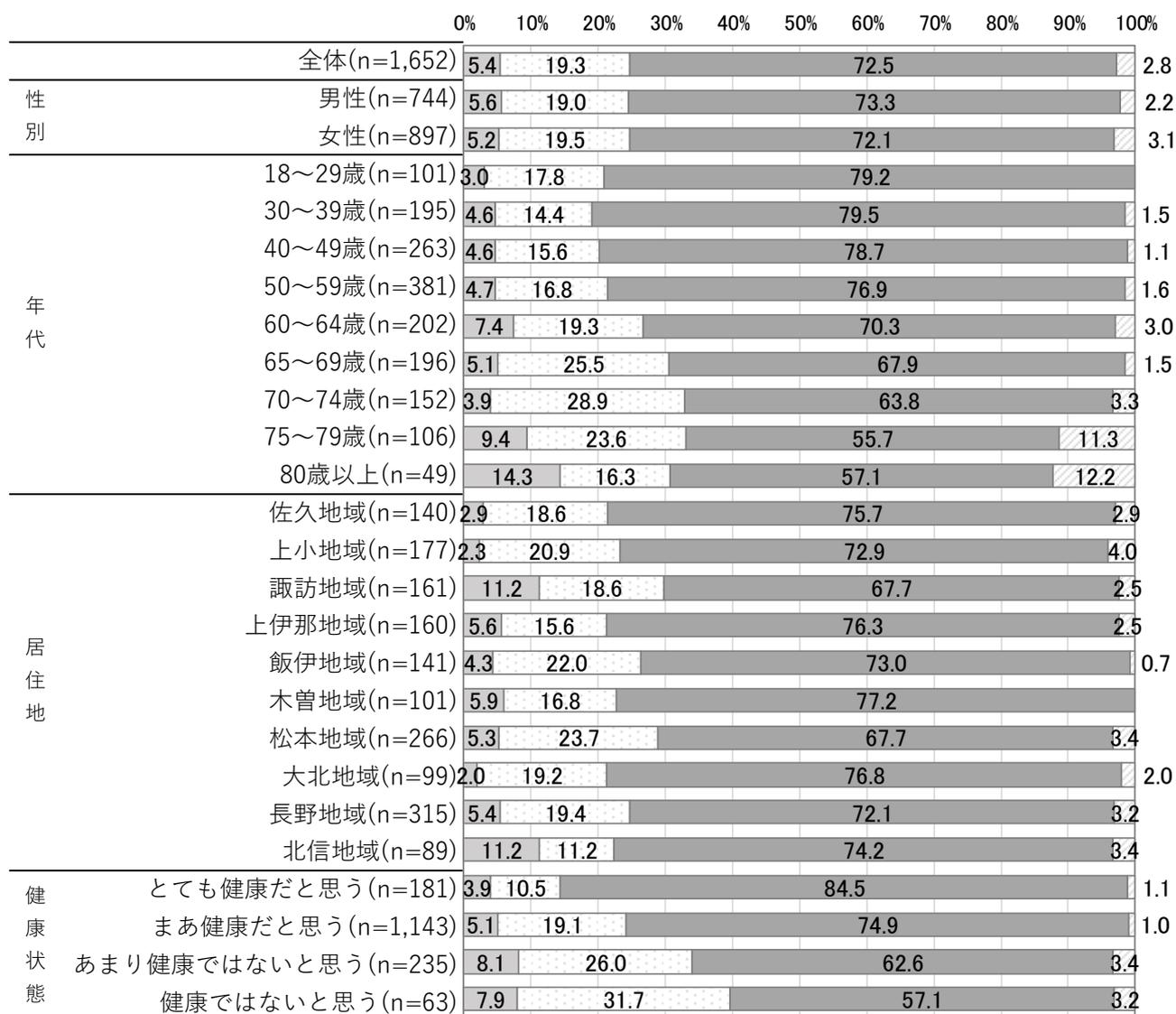
過去1年以内に「原則として紹介状が必要な医療機関」に紹介状を持たずに初診で受診したことについては、「紹介状が必要な医療機関を受診していない」(72.5%)が約7割と最も多い。次に、「必ず紹介状を持参して受診した」(19.3%)、「紹介状を持たずに受診したことがある」(5.4%)と続いている。

性別にみると、差は少ないといえる。

年代別にみると、「必ず紹介状を持参して受診した」は、60代と70代では概ね2割を超えている。また、「18～29歳」(17.8%)、「50～59歳」(16.8%)、「80歳以上」(16.3%)でも約2割となっている。

居住地別にみると、「必ず紹介状を持参して受診した」は、「北信地域」(11.2%)で約1割となり、他の地域では約2割となっている。

健康状態別にみると、「必ず紹介状を持参して受診した」は、「健康ではないと思う」(31.7%)と「あまり健康ではないと思う」(26.0%)で約3割となっている。「まあ健康だと思う」(19.1%)で約2割、「とても健康だと思う」(10.5%)で約1割となっている。



- 紹介状を持たずに受診したことがある
- 必ず紹介状を持参して受診した
- 紹介状が必要な医療機関を受診していない
- 無回答

問7 あなたは、過去1年以内に「原則として紹介状が必要な医療機関」に紹介状を持たずに初診で受診したことがありますか。次の中から1つお選びください。

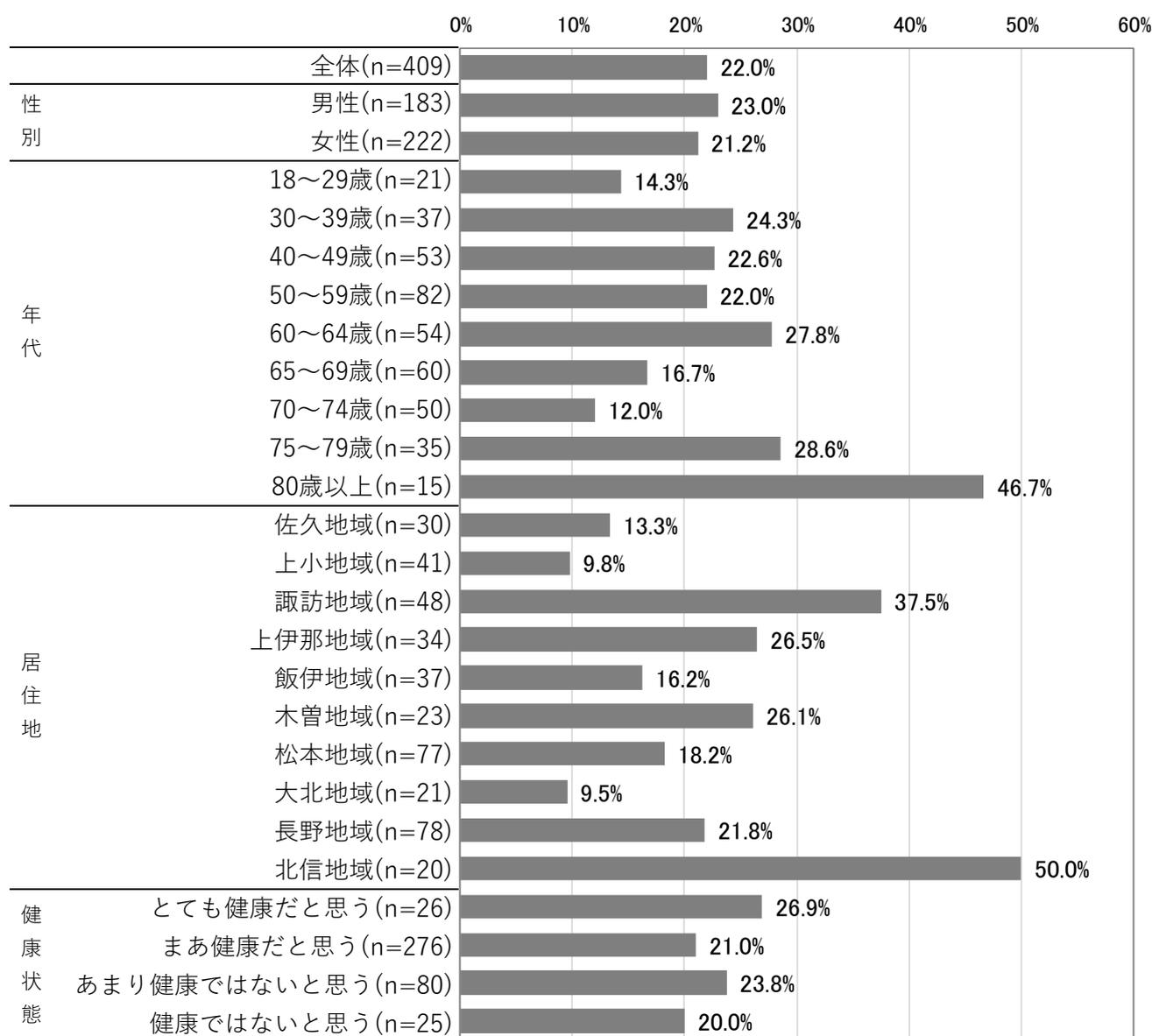
過去1年以内に「原則として紹介状が必要な医療機関」に初診で受診した方の内訳は「紹介状を持たずに受診したことがある」と「必ず紹介状を持参して受診した」に分けられ、「紹介状を持たずに受診したことがある」と回答した方の割合は22.0%となる。

「紹介状を持たずに受診したことがある」と回答した方を性別にみると、「男性」(23.0%)は「女性」(21.2%)よりもやや高い。

年代別にみると、「80歳以上」では4割を超えている。

居住地別にみると、「諏訪地域」(37.5%)、「北信地域」(50.0%)で3割を超えている。

健康状態別にみると、「とても健康だと思う」で26.9%と最も多く、すべての状態で2割以上となっている。

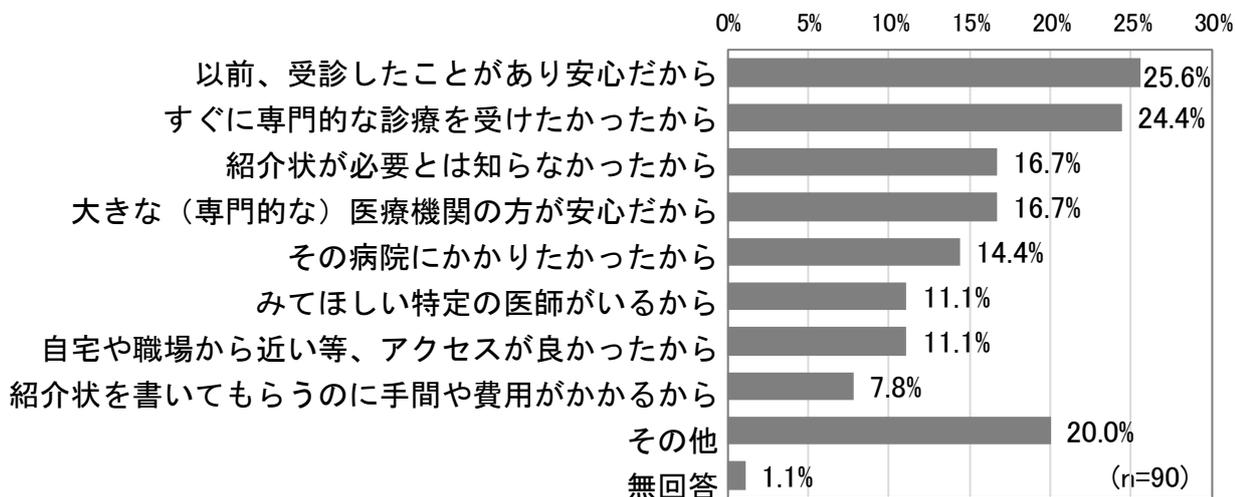


過去1年以内に「原則として紹介状が必要な医療機関」を受診した方の内、
「紹介状を持たずに受診したことがある」と回答した割合

問8 問7で「1 紹介状を持たずに受診したことがある」と回答した方にお尋ねします。
紹介状を持たずに受診した理由について、次の中から2つまでお選びください。

紹介状を持たずに受診したことがある方の理由については、「以前、受診したことがあり安心だから」(25.6%) が約3割と最も多い。次に、「すぐに専門的な診療を受けたかったから」(24.4%)、「その他」(20.0%) と続いている。

回答数が限られることから、属性による比較は難しい。



問9 通院時の移動手段として、主に利用するものは何ですか。また、通院時間はどの程度かかりますか。次の中から、それぞれ1つお選びください。

【移動手段についてお選びください。】

通院時の移動の手段は、「自家用車」(92.4%)が約9割と最も多い。次いで、「自転車・徒歩」(3.0%)、「無回答」(2.7%)、「公共交通機関」(0.9%)と続いている。「自家用車」と「無回答」を除いた回答を積み上げたグラフが下図となる。

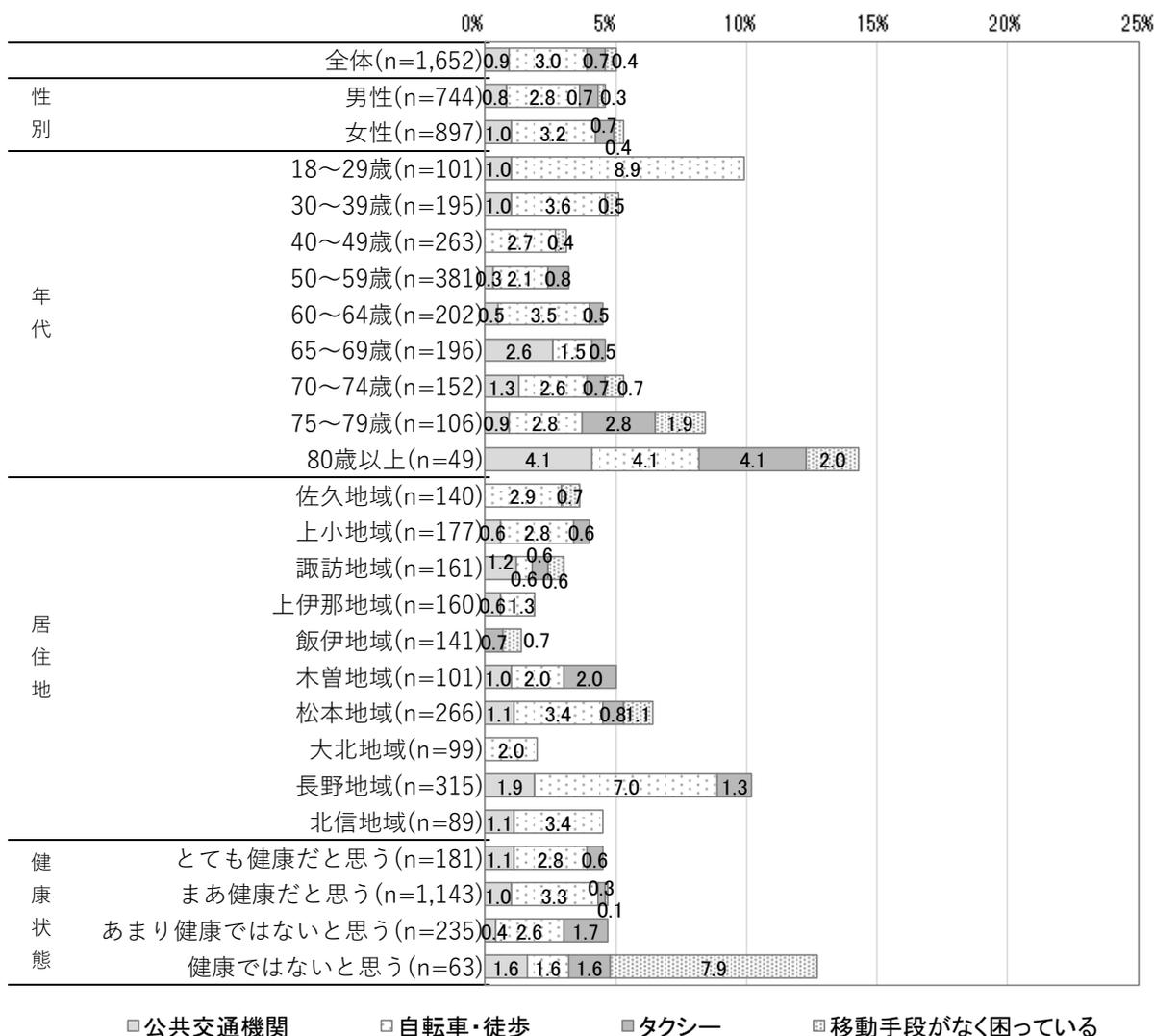
性別にみると、「自転車・徒歩」は、「女性」が「男性」よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「80歳以上」では、「自家用車」以外を利用している割合が高くなっており、「公共交通機関」と「自転車・徒歩」、「タクシー」が同率で4.1%となる。

居住地別にみると、「自家用車」以外を利用している割合が、「上伊那地域」(3.8%)、「飯伊地域」(2.8%)、「大北地域」(3.0%)で4%未満と、他の地域よりもやや低くなっている。

健康状態別にみると、「健康ではないと思う」では、「自家用車と無回答」以外を利用している割合(12.7%)が1割を超えており、「移動手段がなく困っている」(7.9%)、「公共交通機関」、「自転車・徒歩」、「タクシー」が同率で1.6%となっている。

【自家用車と無回答以外の回答状況】



問9 通院時の移動手段として、主に利用するものは何ですか。また、通院時間はどの程度かかりますか。次の中から、それぞれ1つお選びください。

【通院時間についてお選びください。】

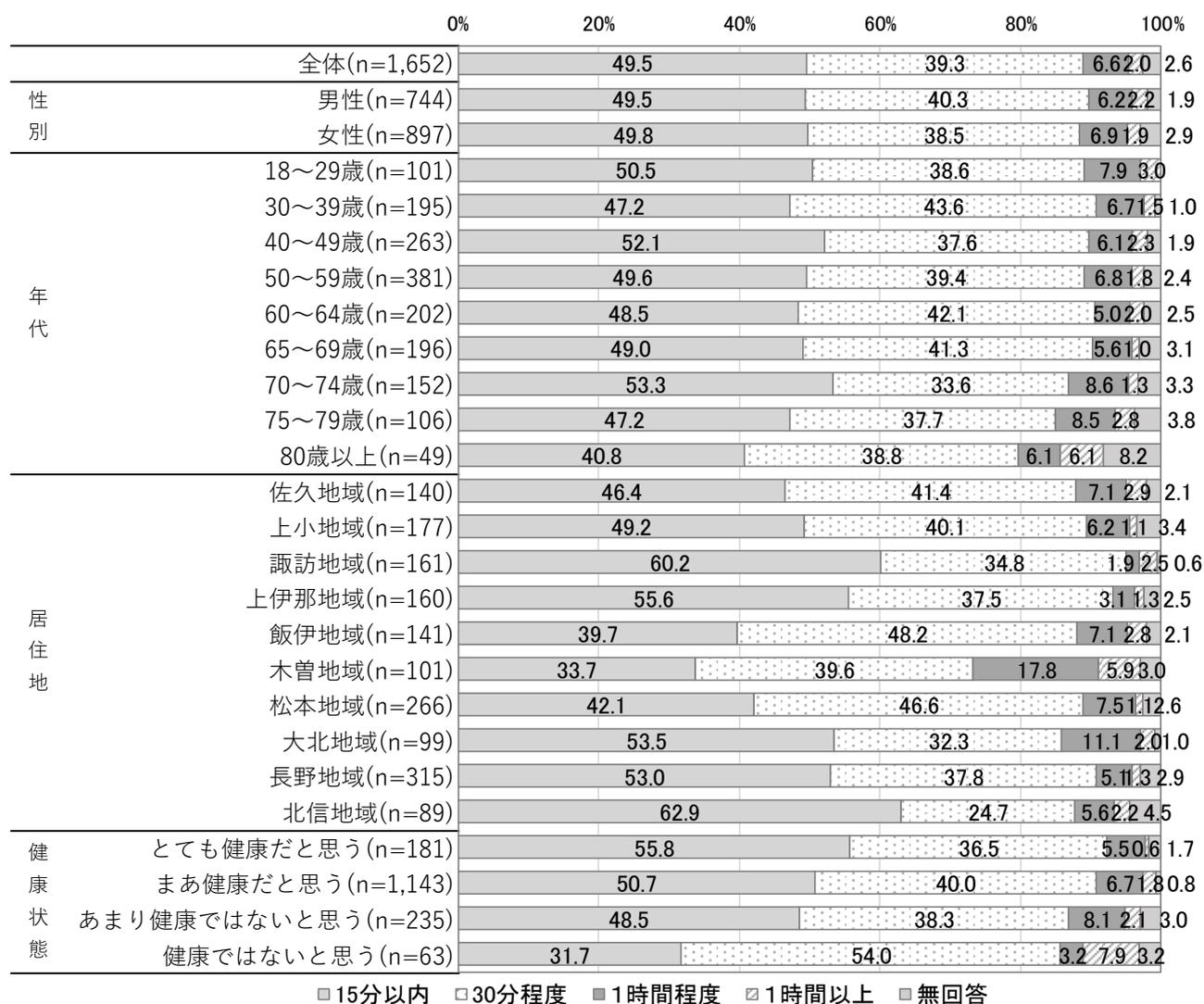
通院時間は、「15分以内」(49.5%)が約5割と最も多い。次に、「30分程度」(39.3%)、「1時間程度」(6.6%)と続いている。

性別にみると、差は少ないといえる。

年代別にみると、「15分以内」は、「80歳以上」で約4割となっている。一方、18歳～79歳で5割前後となっている。

居住地別にみると、「飯伊地域」(48.2%)と「木曾地域」(39.6%)と「松本地域」(46.6%)では「30分程度」が最も多くなっている。他の地域では、「15分以内」が最も多い回答となっている。一方、「1時間程度」は、「木曾地域」(17.8%)、「大北地域」(11.1%)で1割を超え、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、「健康ではないと思う」で「30分程度」が5割を超え最も多くなっており、その他の状態では「15分以内」が最も多くなっている。



問 10 過去 1 年間に、あなたやご家族が、休日や夜間など、医療機関が診察していない時間帯に、医療機関の受診を考えるような病気やケガになったことがありますか。

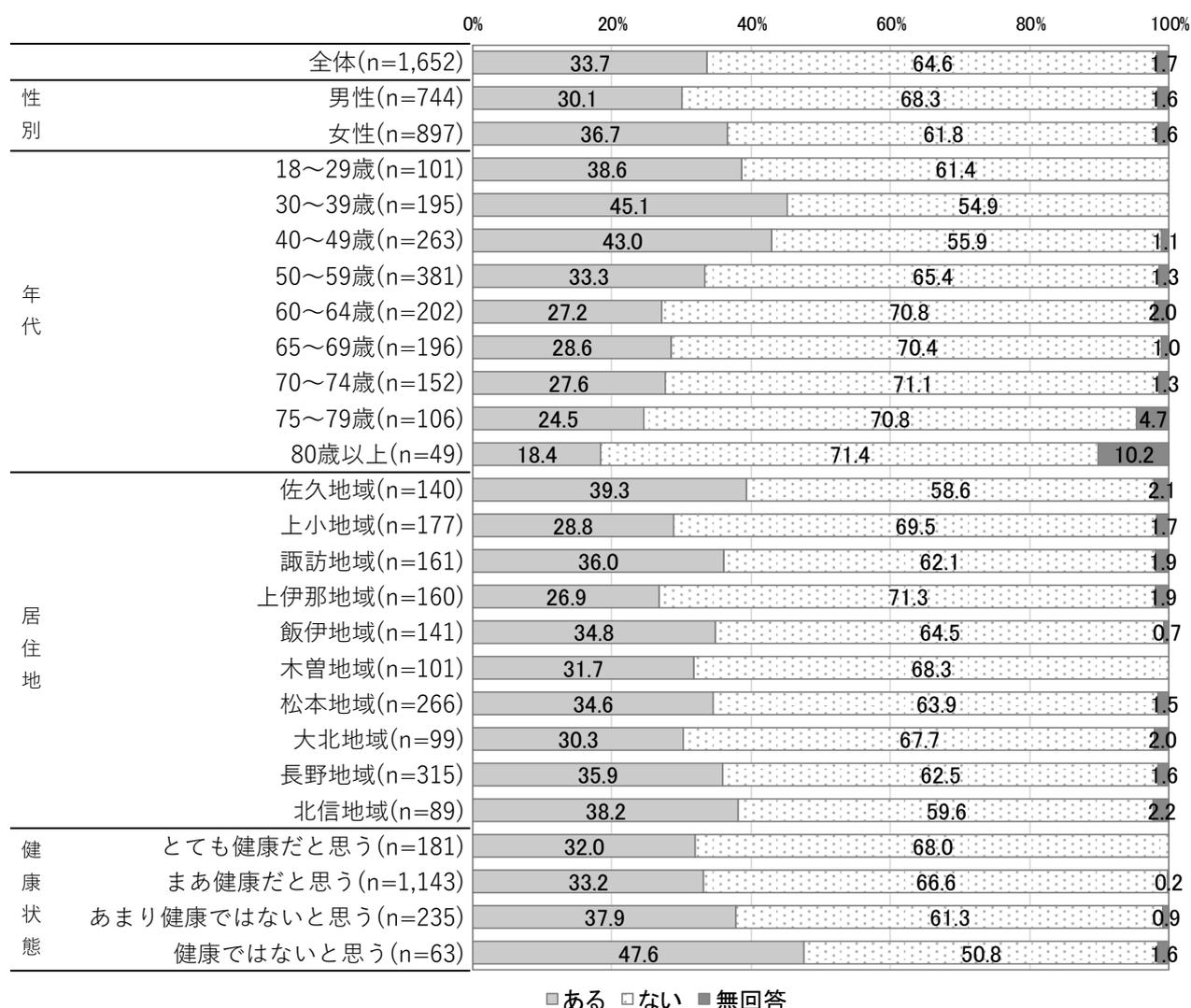
過去 1 年間に、自身や家族が、休日や夜間など、医療機関が診察していない時間帯に医療機関の受診を考えるような病気やケガになったかについては、「ない」(64.6%) が約 6 割、「ある」(33.7%) が約 3 割となる。

性別にみると、「ある」は、「女性」(36.7%) が「男性」(30.1%) よりもやや高い。

年代別にみると、18 歳から 59 歳で、「ある」が 3 割を超えている。特に、「30～39 歳」(45.1%) と「40～49 歳」(43.0) では 4 割を超えている。

居住地別にみると、大きな差は少ないといえる。

健康状態別にみると、「とても健康だと思う」(32.0%) と「まあ健康だと思う」(33.2%) では「ある」が約 3 割であるものの、「あまり健康ではないと思う」(37.9%) では約 4 割、「健康ではないと思う」(47.6%) では約 5 割となっている。



問11 問10で「1 ある」と回答した方にお尋ねします。

その時どのように対応されましたか。次の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

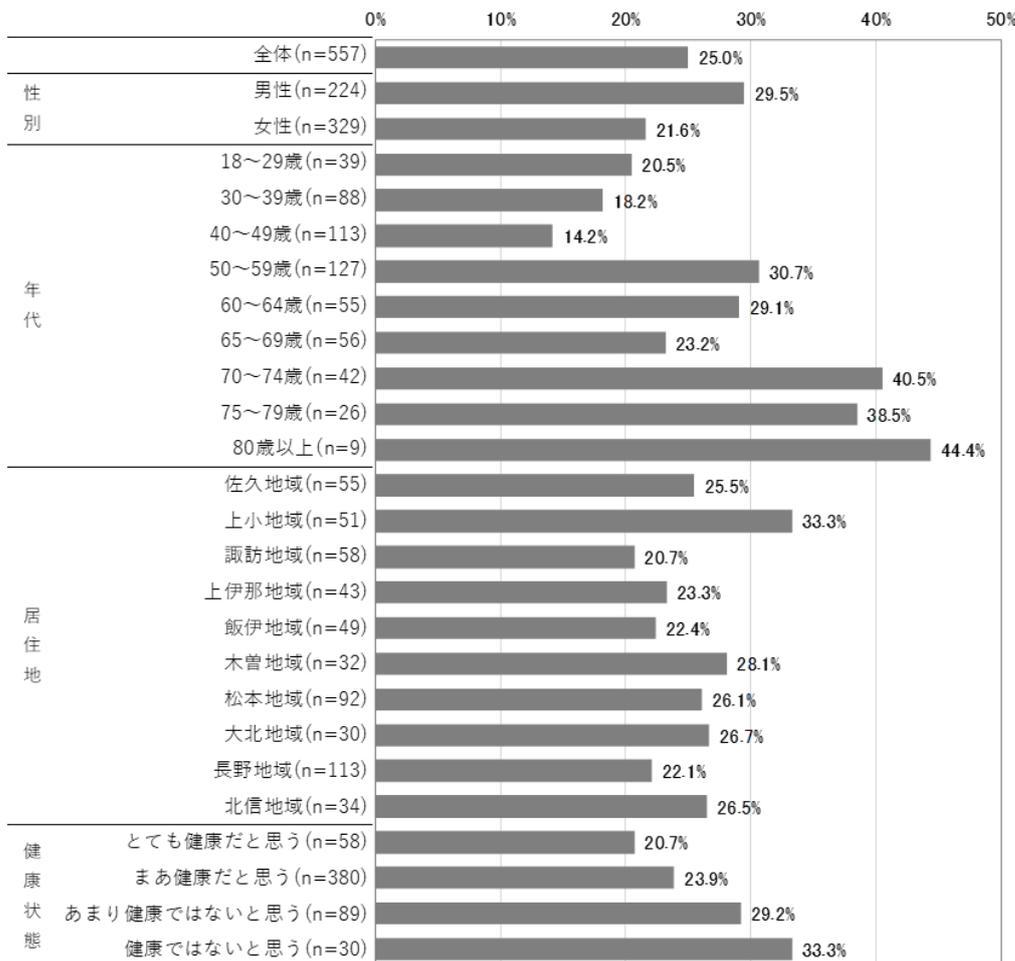
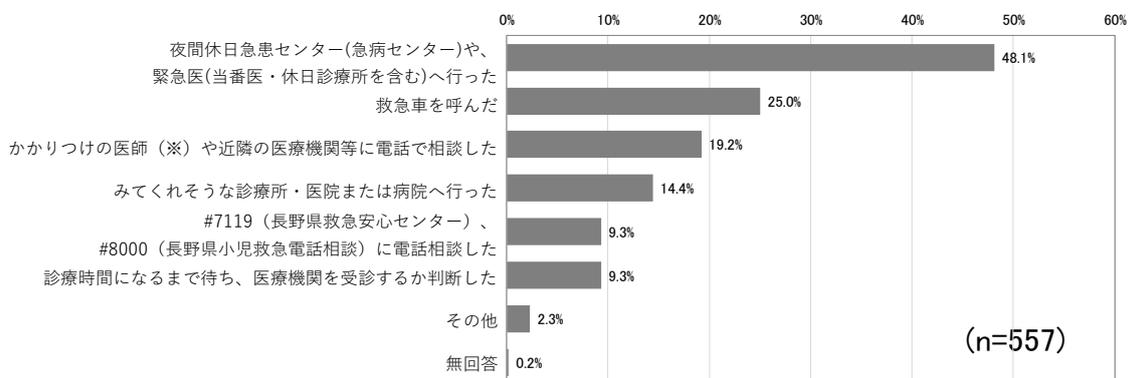
過去1年間に、自身や家族が、休日や夜間など、医療機関が診察していない時間帯に医療機関の受診を考えるような病気やケガになったことがある方にその時の対応を伺うと、「夜間休日急患センター(急病センター)や、緊急医(当番医・休日診療所を含む)へ行った」(48.1%)が約5割と最も多い。次に、「救急車を呼んだ」(25.0%)、「かかりつけの医師や近隣の医療機関等に電話で相談した」(19.2%)、「みてくれそうな診療所・医院または病院へ行った」(14.4%)と続いている。

性別にみると、「救急車を呼んだ」は、男性(29.5%)が女性(21.6%)よりも1割ほど高い。

年代別にみると、70歳以上で、「救急車を呼んだ」が約4割となっている。

居住地別にみると、「上小地域」(33.3%)で、「救急車を呼んだ」が3割を超えている。

健康状態別にみると、「健康ではないと思う」(33.3%)では、「救急車を呼んだ」が3割台となっている。



問12 休日や夜間に、急な病気やケガの際に電話で相談できる窓口があります。次の中から知っている相談窓口をすべてお選びください。

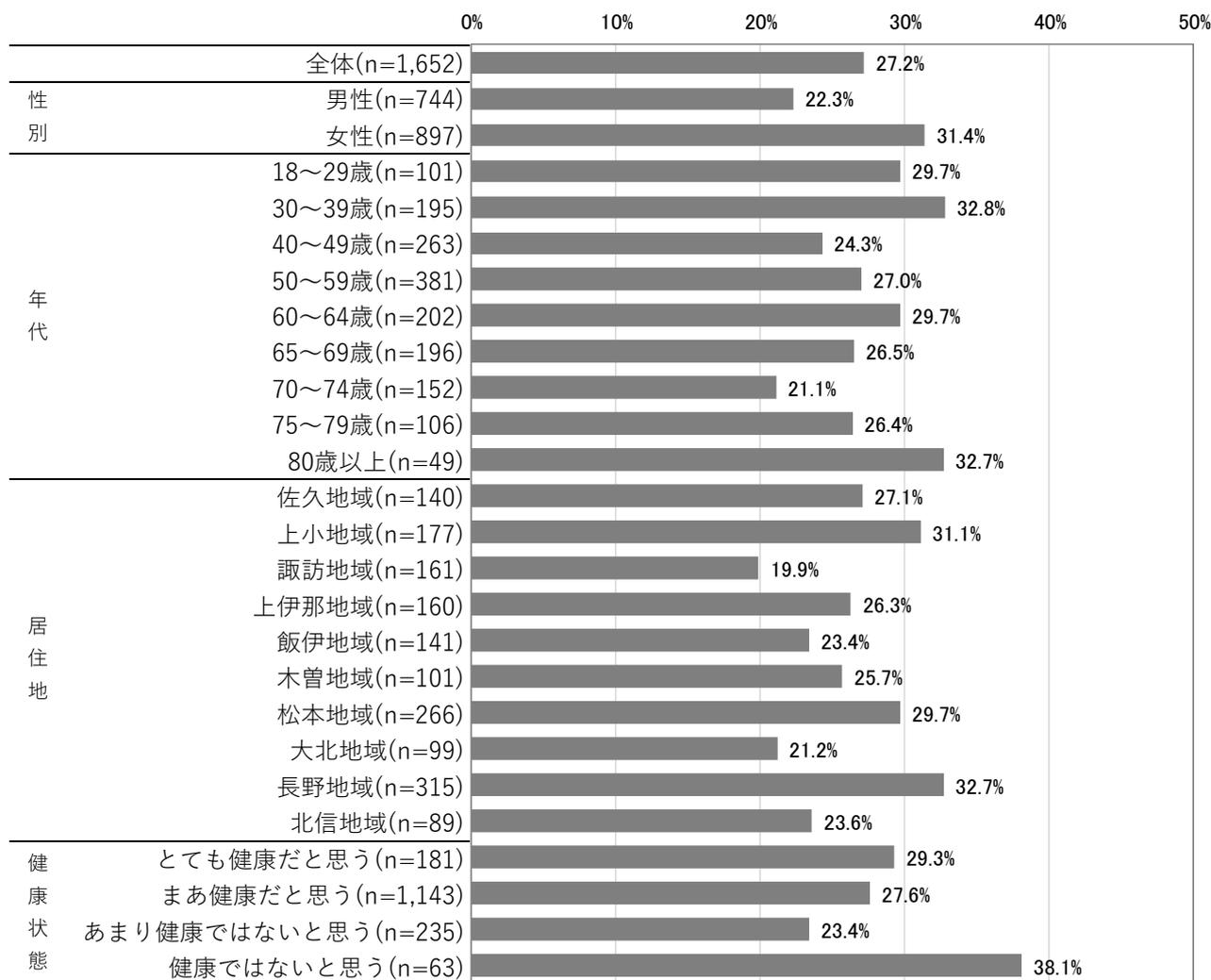
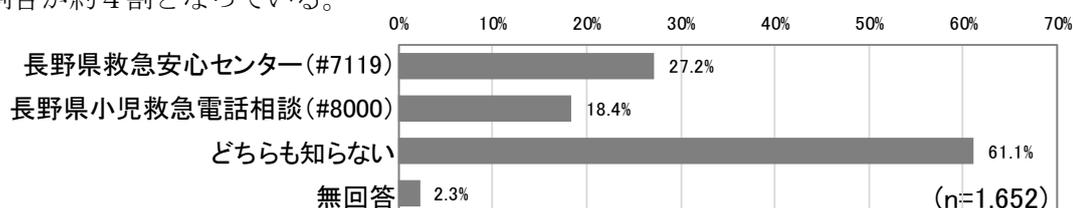
相談窓口については、「どちらも知らない」(61.1%)が約6割となっている。一方、知っている相談窓口としては、「長野県救急安心センター(#7119)」(27.2%)、「長野県小児救急電話相談(#8000)」(18.4%)となる。

性別にみると、「長野県救急安心センター(#7119)」は、「女性」(31.4%)が「男性」(22.3%)よりも知っている割合が高くなる。

年代別にみると、「30～39歳」(32.8%)と「80歳以上」(32.7%)では、「長野県救急安心センター(#7119)」を知っている割合が3割を超えている。

居住地別にみると、「上小地域」(31.1%)と「長野地域」(32.7%)では、「長野県救急安心センター(#7119)」を知っている割合が3割を超えている。

健康状態別にみると、「健康ではないと思う」(38.1%)で、「長野県救急安心センター(#7119)」を知っている割合が約4割となっている。

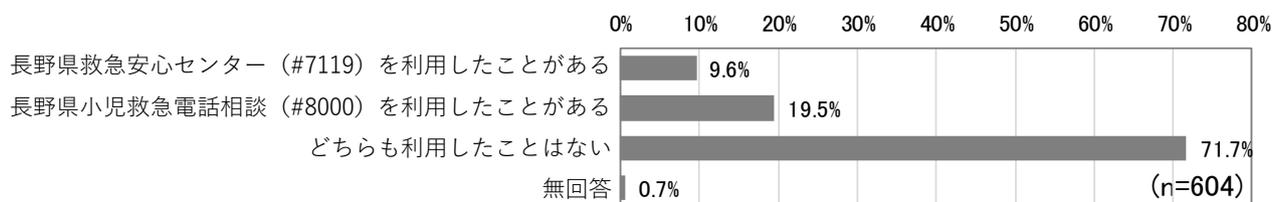


■ 長野県救急安心センター(#7119)

問13 問12で「知っている」相談窓口があった方にお尋ねします。

問12で選んだ窓口について、利用したことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

相談窓口を利用したことがあるかについては、「どちらも利用したことはない」(71.7%)が約7割と最も多い。次に、「長野県小児救急電話相談(#8000)を利用したことがある」(19.5%)、「長野県救急安心センター(#7119)を利用したことがある」(9.6%)と続いている。



3. かかりつけの医師について

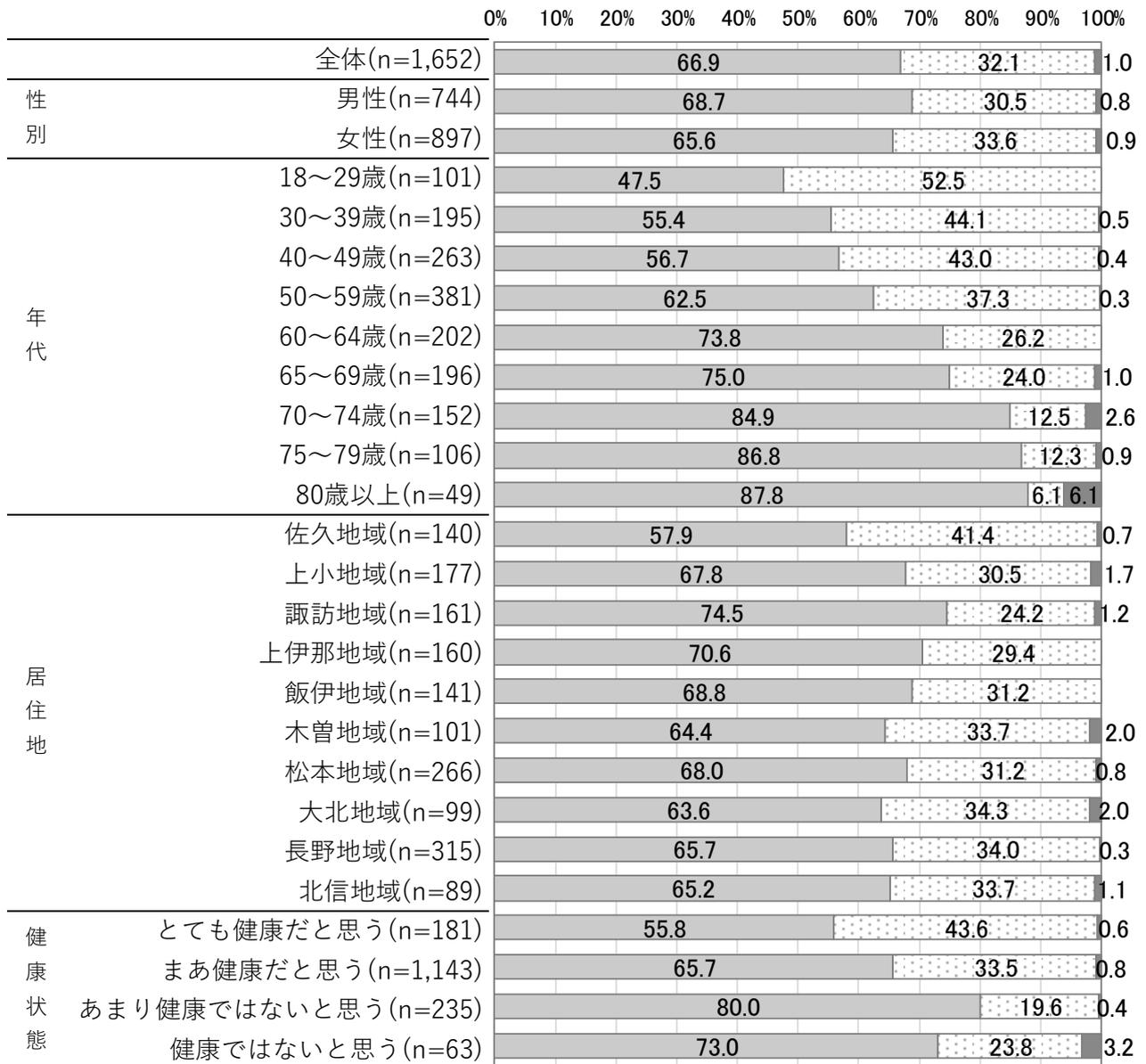
問14 あなたは、かかりつけの医師がいますか。

かかりつけの医師については、「いる」(66.9%)が約7割で、前回調査(70.6%)を下回った。
性別にみると、男女とも同じ傾向といえる。

年代別にみると、「いる」は、年代が上がるにつれ高くなっている。「18~29歳」(47.5%)では4割台であるものの、「30~39歳」(55.4%)で5割を超え、60歳以上では7割を超えている。また、「80歳以上」(87.8%)では9割近くになっている。

居住地別にみると、大きな差はみられない。

健康状態別にみると、「いる」は、「とても健康だと思う」(55.8%)が5割台であるのに対して「あまり健康ではないと思う」(80.0%)が8割になっている。



■いる □いない ■無回答

問 15 問 14 で「1 いる」と回答した方にお尋ねします。

あなたのかかりつけの医師にあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

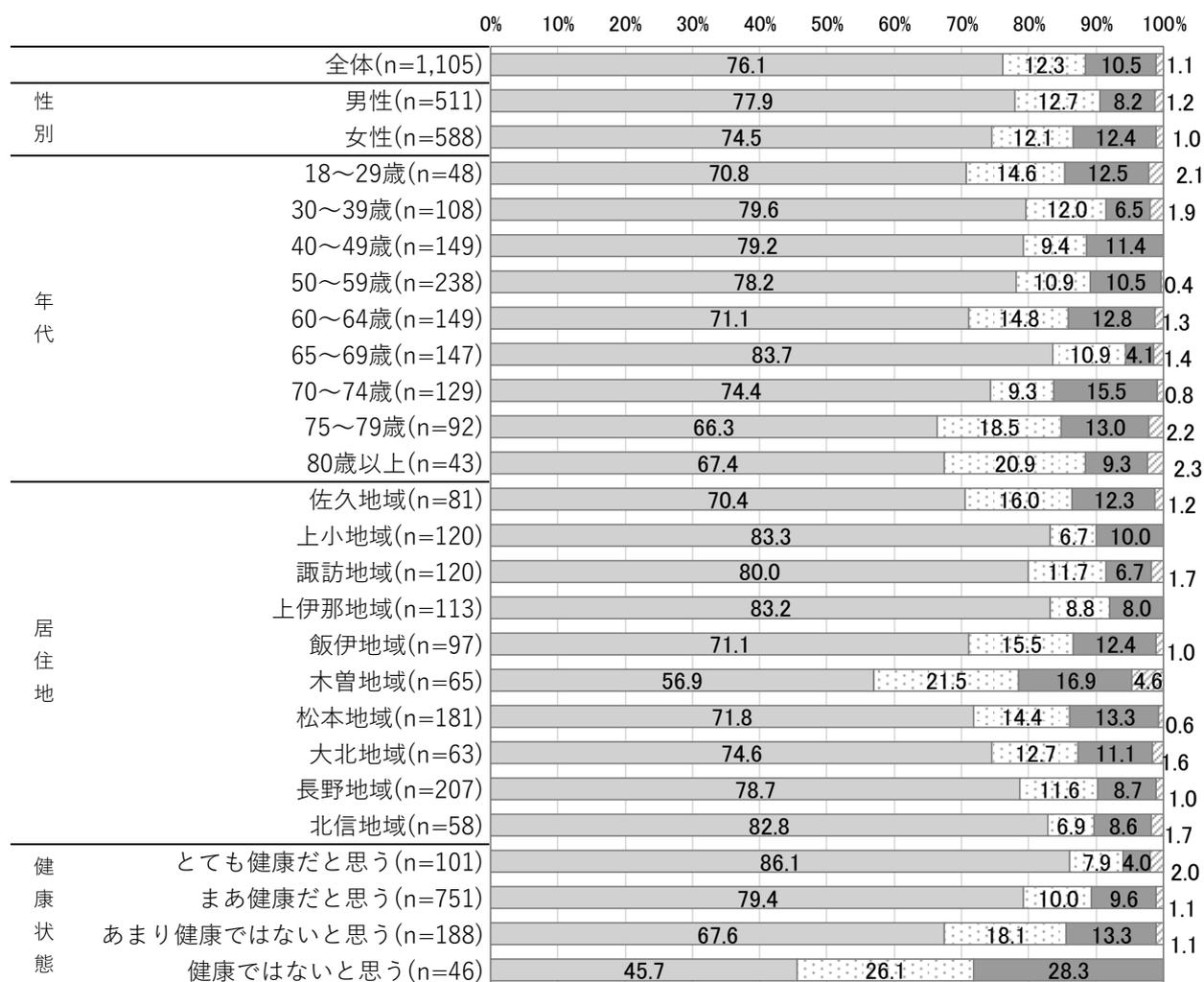
自身のかかりつけの医師については、「診療所（医院・クリニック）の医師」（76.1%）が約8割と最も多い。次に、「大きい病院の医師」（12.3%）、「上記1、2のどちらともいる（病気によって使い分ける）」（10.5%）と続いている。

性別にみると、大きな差はないといえる。

年代別にみると、75歳以上で「大きい病院の医師」をかかりつけ医としている割合が約2割となっている。

居住地別にみると、「木曾地域」（21.5%）で、「大きい病院の医師」が2割台と、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、健康だと思う人よりも健康ではないと思う人ほど「大きい病院の医師」が高くなっている。



- 診療所(医院・クリニック)の医師
- 大きい病院の医師
- どちらともいる(病気によって使い分ける)
- 無回答

問 16 問 14 で「2 いない」と回答した方にお尋ねします。

かかりつけの医師を持たない理由としてあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

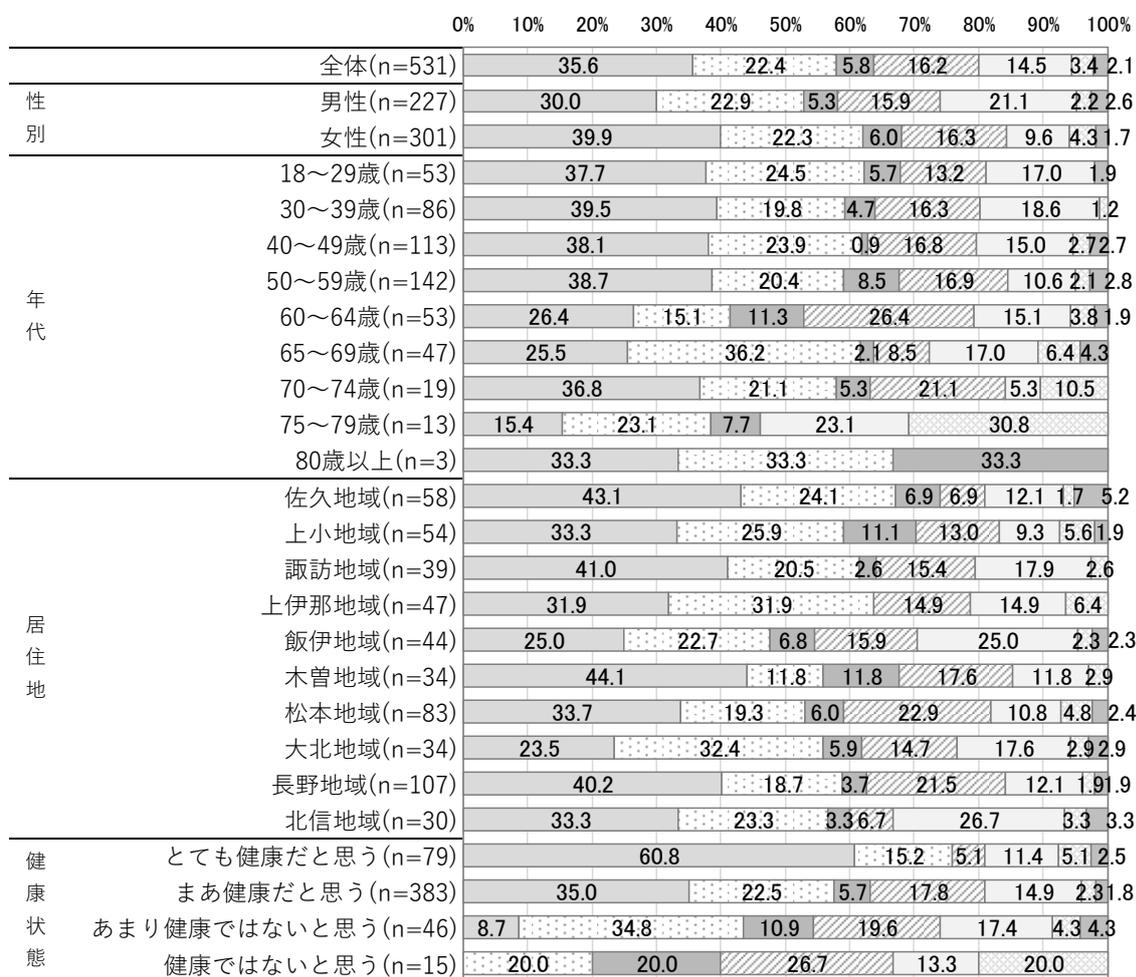
かかりつけの医師を持たない理由については、「医療機関に行く必要がない(病気にならない)から」(35.6%)が約4割と最も多い。次に、「その都度適切な医療機関を選ぶ方がよいと思うから」(22.4%)、「かかりつけ医として適切な医療機関をどう探していいかわからないから」(16.2%)、「特に理由はない」(14.5%)と続いている。

性別にみると、男女とも同じ傾向となっているものの、「特に理由はない」は、「男性」(21.1%)が「女性」(9.6%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「65～69歳」(36.2%)で、「その都度適切な医療機関を選ぶ方がよいと思うから」が約4割と、他の年代よりやや高くなっている。

居住地別にみると、「その都度適切な医療機関を選ぶ方がよいと思うから」は、「上伊那地域」(31.9%)、「大北地域」(32.4%)で3割以上となり、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると「医療機関に行く必要がない(病気にならない)から」は「とても健康だと思う」(60.8%)で6割台と他の健康状態よりも高くなっている。



- 医療機関に行く必要がない(病気にならない)から
- その都度適切な医療機関を選ぶ方がよいと思うから
- 近所に適切な医療機関がないから
- かかりつけ医として適切な医療機関をどう探していいかわからないから
- 特に理由はない
- その他
- 無回答

4. かかりつけの歯科医師について

問17 あなたは、かかりつけの歯科医師がいますか。

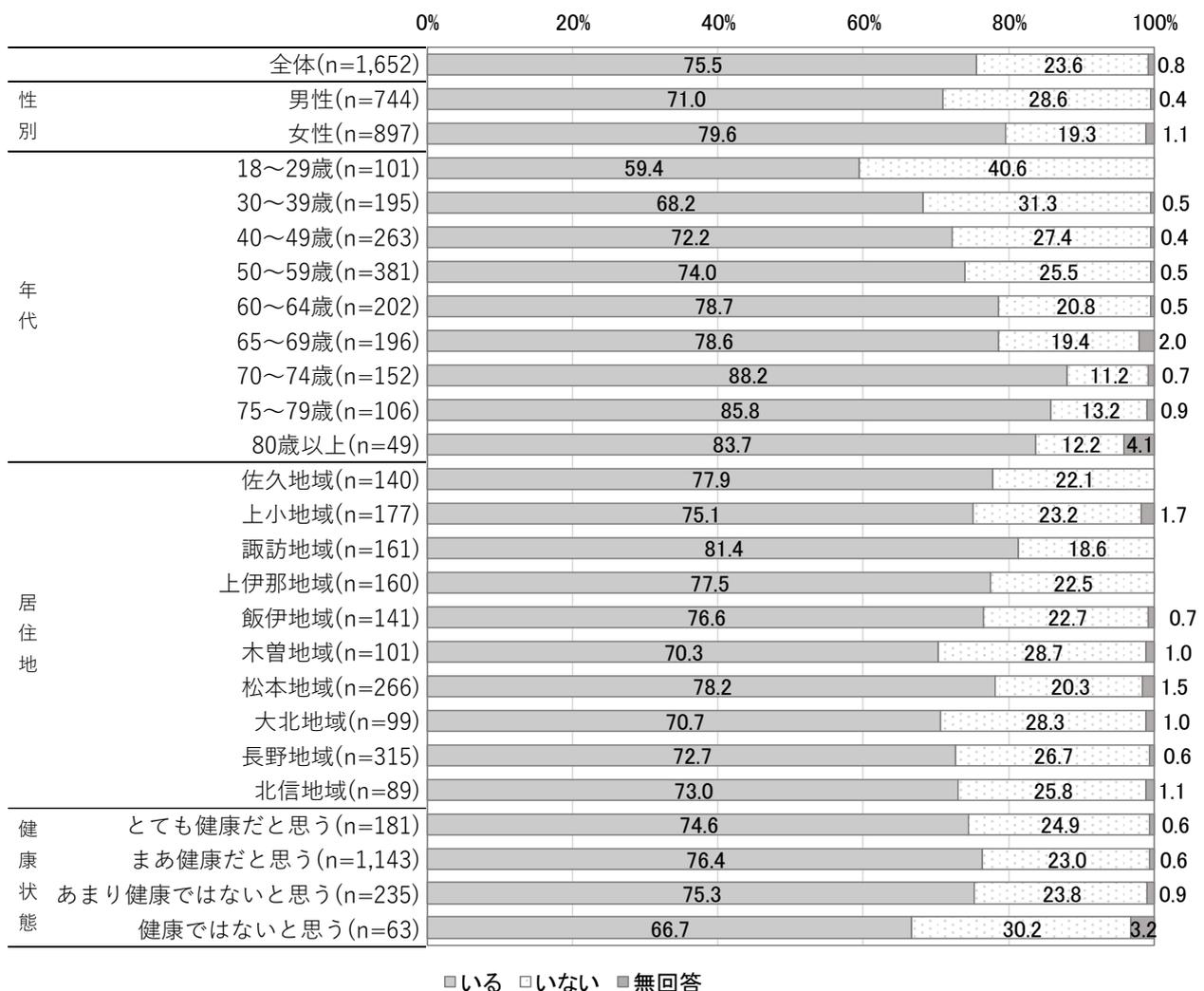
かかりつけの歯科医師は、「いる」(75.5%)が約8割、前回調査(76.9%)を下回った。

性別にみると、「いる」は、「女性」(79.6%)が「男性」(71.0%)よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「いる」は、39歳以下では7割を下回っており、40歳から69歳では7割台、70歳以上で8割を超えている。また、問14の「かかりつけ医」と比べると、若い世代でも一定程度のかかりつけ歯科医師がいる。

居住地別にみると、「いる」は、「諏訪地域」(81.4%)で8割を超え、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、「いる」は、「健康ではないと思う」(66.7%)以外のすべてで7割を超えている。



問18 問17で「1 いる」と回答した方にお尋ねします。

かかりつけの歯科医院で年1回以上の定期的な歯科健診（検診）を受けていますか。

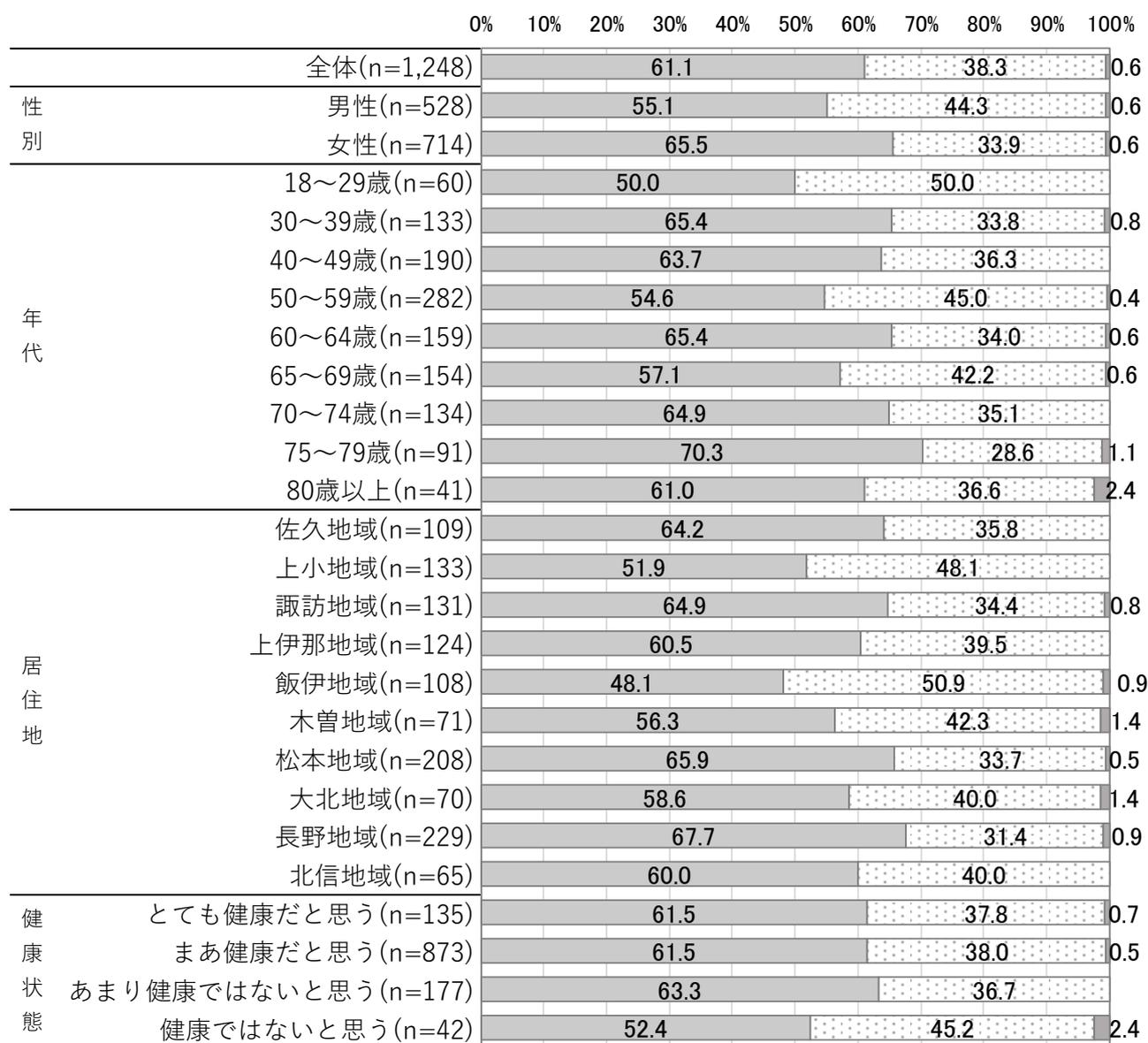
かかりつけの歯科医院で年1回以上の定期的な歯科健診（検診）を受けているかについては、「いる」（61.1%）が約6割、「いない」（38.3%）が約4割となっている。

性別にみると、「いる」は、「女性」（65.5%）が「男性」（55.1%）よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「いる」は、「75～79歳」（70.3%）で7割を超え、他の年代よりもやや高くなっている。

居住地別にみると、「いる」は、「飯伊地域」（48.1%）で4割台と、他の地域よりもやや低くなっている。

健康状態別にみると、「いる」は、「健康ではないと思う」（52.4%）で5割台と、他の健康状態よりもやや低くなっている。



■いる □いない ■無回答

問19 問17で「2 いない」と答えた方にお尋ねします。

かかりつけの歯科医師を持たない理由としてあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

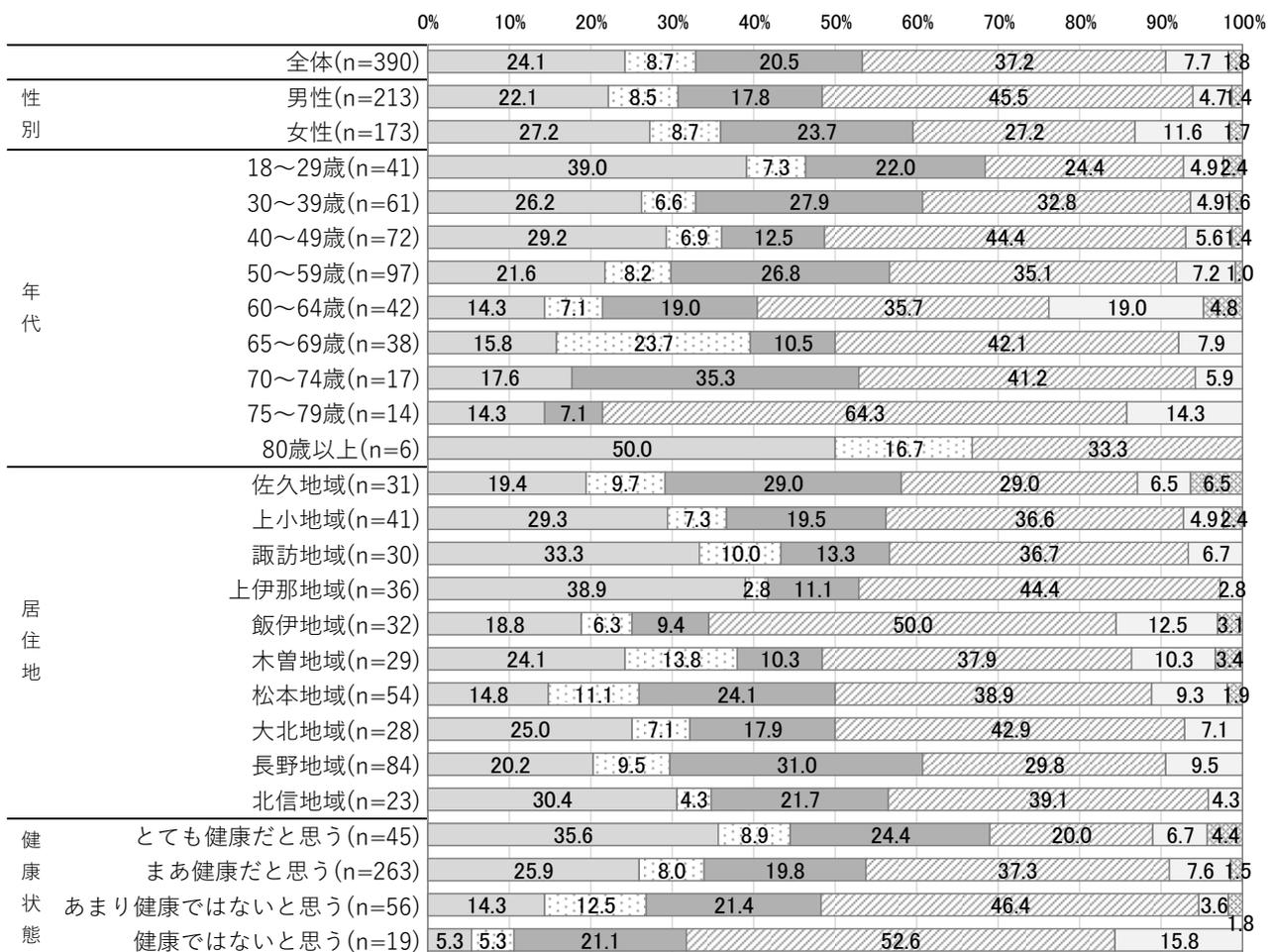
かかりつけの歯科医師を持たない理由は、問16「かかりつけ医」を持たない理由と比べ「特に理由はない」(37.2%)の割合が高く、約4割と最も多い。次に、「歯科医院に行く必要がない(口の中の病気になる)から」(24.1%)、「適切な歯科医院をどう探していいかわからないから」(20.5%)、「近所に適切な歯科医院がないから」(8.7%)と続いている。

性別にみると、「適切な歯科医院をどう探していいかわからないから」は、「女性」(23.7%)が「男性」(17.8%)よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「適切な歯科医院をどう探していいかわからないから」は、39歳以下と50代で2割以上となっており、「70～74歳」では3割を超えている。

居住地別にみると、「適切な歯科医院をどう探していいかわからないから」は、「佐久地域」(29.0%)、「松本地域」(24.1%)、「長野地域」(31.0%)、「北信地域」(21.7%)で2割を超えている。

健康状態別にみると、「歯科医院に行く必要がない(口の中の病気になる)から」は、「とても健康だと思う」(35.6%)で3割台となり、健康ではないと思う人よりも健康だと思う人ほど「歯科医院に行く必要がない(口の中の病気になる)から」が高くなっている。



- 歯科医院に行く必要がない(口の中の病気になる)から
- 適切な歯科医院をどう探していいかわからないから
- その他
- 近所に適切な歯科医院がないから
- 特に理由はない
- 無回答

5. かかりつけの薬局について

問20 あなたは、かかりつけの薬局をお持ちですか。

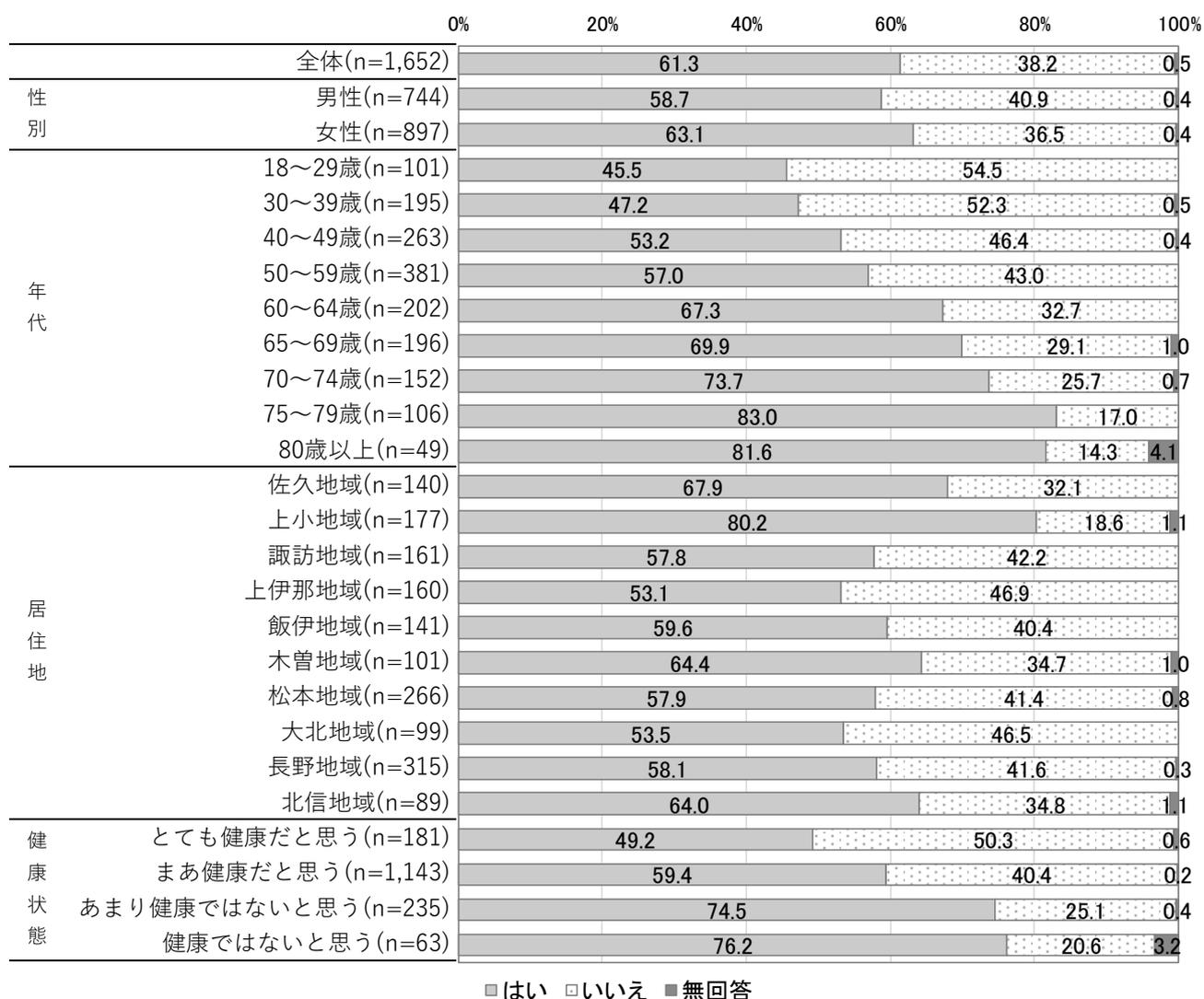
かかりつけの薬局を持っているかについては、「はい」(61.3%)が約6割で、前回調査(62.2%)を下回った。

性別にみると、「はい」は、「女性」(63.1%)が「男性」(58.7%)よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「はい」は、39歳以下では4割台となり、40歳以上で5割を超えている。特に、75歳以上では8割を超えている。また、問14の「かかりつけ医」と比べて全体的にやや低いものの、同じ傾向が見られる。

居住地別にみると、「はい」は、「上小地域」(80.2%)で8割を超えている。

健康状態別にみると、「はい」は、「あまり健康ではないと思う」(74.5%)と「健康ではないと思う」(76.2%)で7割台となり、健康だと思う人よりも健康ではないと思う人ほど「はい」が高くなっている。



問21 問20で「1 はい」と回答した方にお尋ねします。

「かかりつけの薬局」にあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

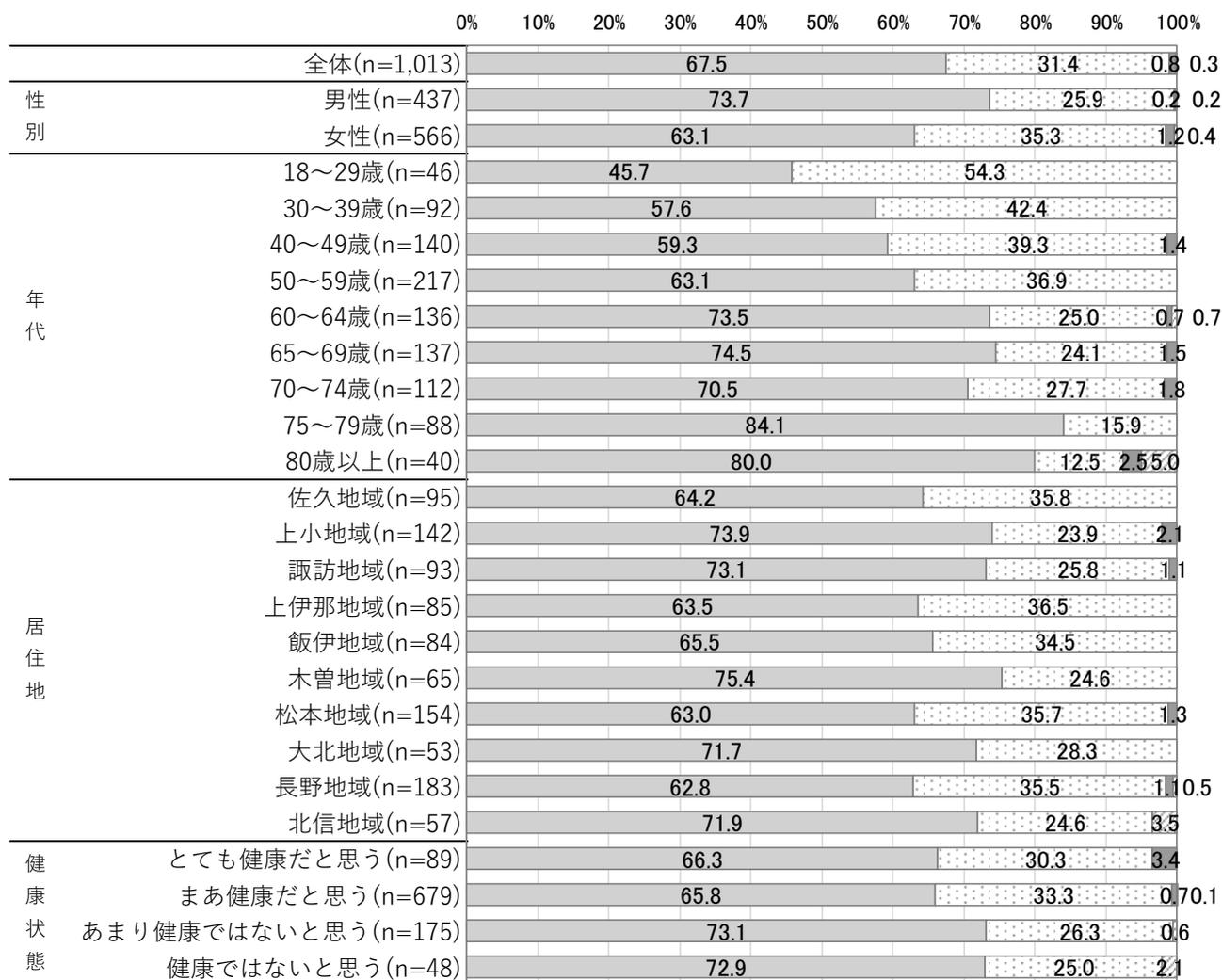
かかりつけの薬局を持っている方にかかりつけの薬局から薬をもらっているかについて伺ったところ、「いつも「かかりつけの薬局」から薬をもらっている」(67.5%)が約7割、「「かかりつけの薬局」を決めているが、「かかりつけの薬局」以外からも薬をもらう場合がある」(31.4%)が約3割となっている。

性別にみると、「いつも「かかりつけの薬局」から薬をもらっている」は、「男性」(73.7%)が「女性」(63.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「いつも「かかりつけの薬局」から薬をもらっている」は、「18～29歳」で4割台、30歳から49歳で5割台となっている。他の年代では6割を超えている。特に、「75～79歳」(84.1%)、「80歳以上」(80.0%)で8割台となっている。

居住地別にみると、「いつも「かかりつけの薬局」から薬をもらっている」は、「木曾地域」(75.4%)で約8割となり、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、大きな差はないといえる。



- いつも「かかりつけの薬局」から薬をもらっている
- ▨「かかりつけの薬局」を決めているが、「かかりつけの薬局」以外からも薬をもらう場合がある
- その他
- 無回答

問22 問20で「2 いいえ」と回答した方にお尋ねします。

「かかりつけの薬局」を持たない理由についてあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

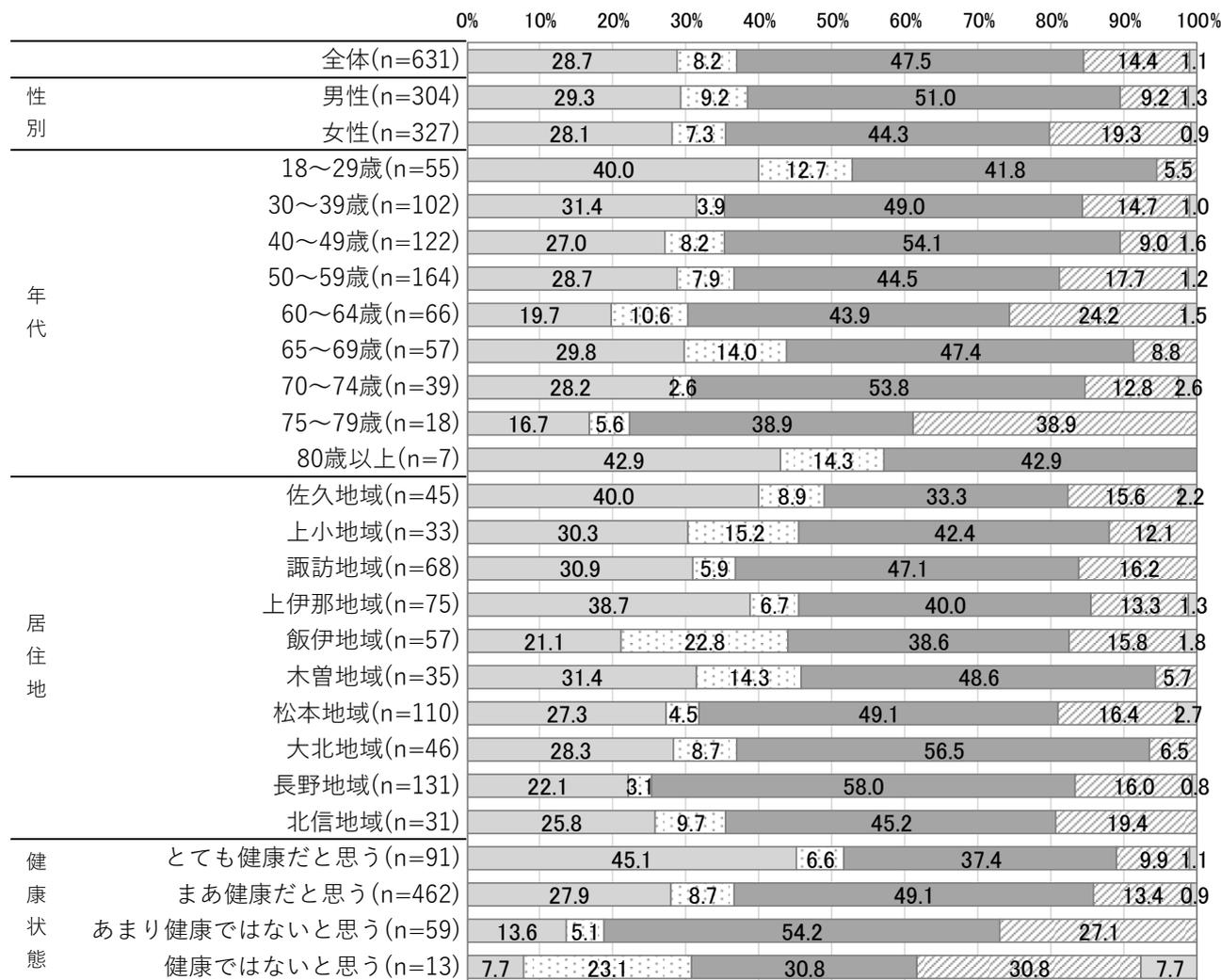
かかりつけの薬局を持たない理由については、「かかりつけ薬局」の必要性を感じていないから(47.5%)が約5割と最も多く、問19のかかりつけの歯科医師と同じ傾向が見られる。次に、「薬の服用や健康状態に不安を感じていないから」(28.7%)、「その他」(14.4%)、「近所に適切な薬局がないから」(8.2%)と続いている。

性別にみると、「かかりつけ薬局」の必要性を感じていないからは、「男性」(51.0%)が「女性」(44.3%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「かかりつけ薬局」の必要性を感じていないからは、「40～49歳」(54.1%)、「70～74歳」(53.8%)で5割以上となっている。

居住地別にみると、「かかりつけ薬局」の必要性を感じていないからは、「大北地域」(56.5%)、「長野地域」(58.0%)で5割を超えている。

健康状態別にみると、「かかりつけ薬局」の必要性を感じていないからは、「あまり健康ではないと思う」(54.2%)で5割を超えている。



- 薬の服用や健康状態に不安を感じていないから
- 「かかりつけ薬局」の必要性を感じていないから
- 無回答
- 近所に適切な薬局がないから
- その他

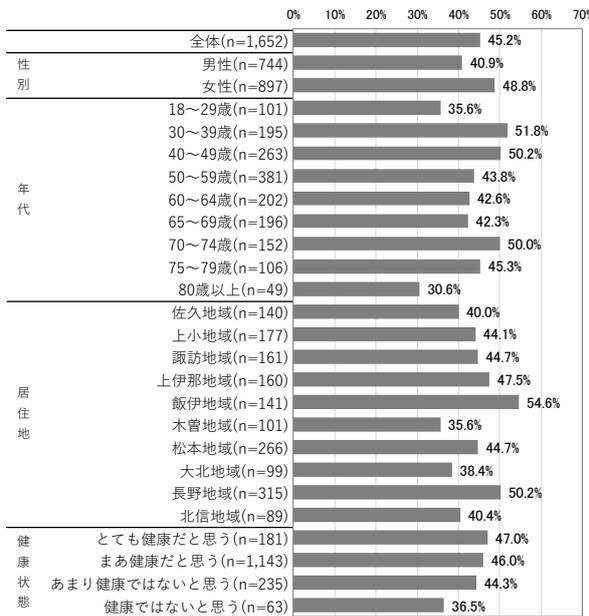
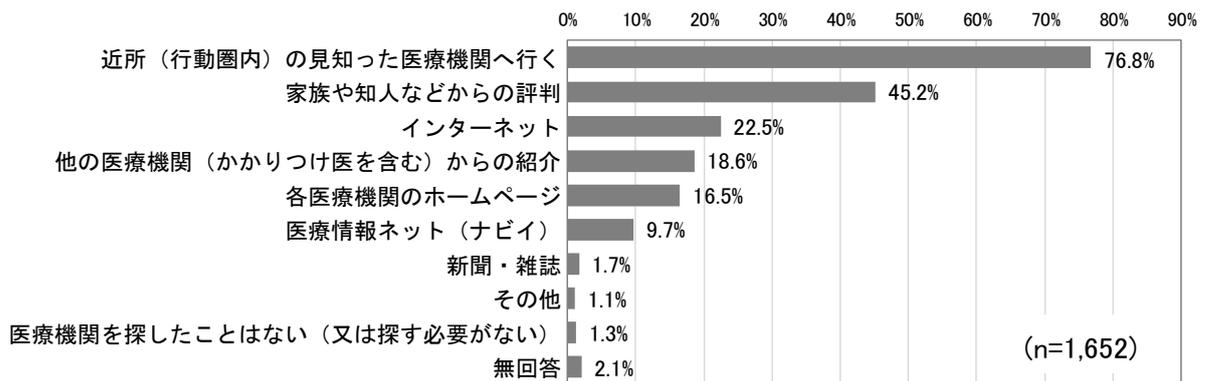
6. 医療機関への受診について

問23 あなたが医療機関を探す場合、どのように探していますか。次の中から、3つまでお選びください。

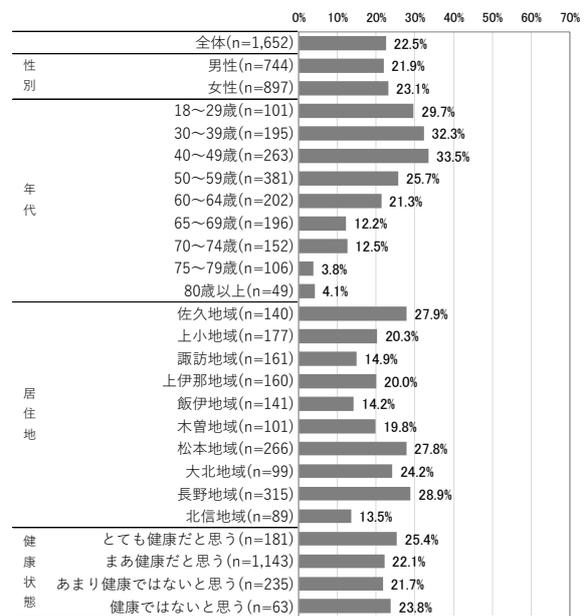
医療機関を探す方法については、「近所（行動圏内）の見知った医療機関へ行く」（76.8%）が約8割と最も多い。次に、「家族や知人などからの評判」（45.2%）、「インターネット」（22.5%）と続いている。

「家族や知人などからの評判」については、「女性」（48.8%）が「男性」（40.9%）よりもやや高く、30歳から49歳までで5割を超え、他の年代よりも高くなっている。

「インターネット」については、男女の差は少なく、40代以下で概ね3割を超え、他の年代よりも高くなっている。



■ 家族や知人などからの評判



■ インターネット

問24 医療機関での病気の診察や治療に関して、どのようなことを望みますか。次の中から、3つまでお選びください。

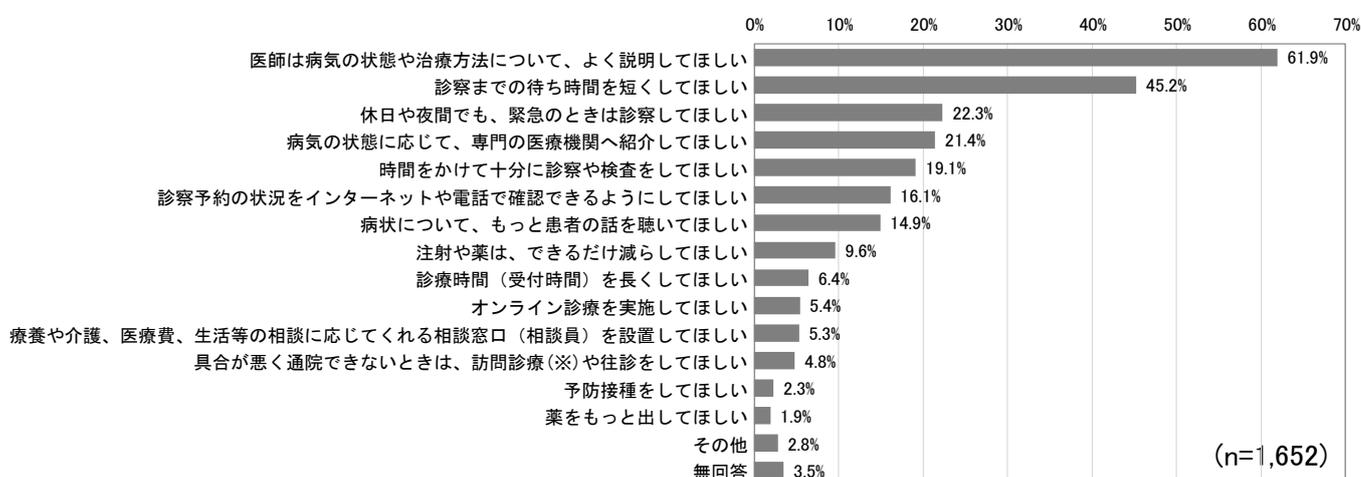
医療機関での病気の診察や治療に関して望むことは、「医師は病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい」(61.9%)が約6割と最も多い。次に、「診察までの待ち時間を短くしてほしい」(45.2%)、「休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい」(22.3%)、「病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい」(21.4%)と続いている。

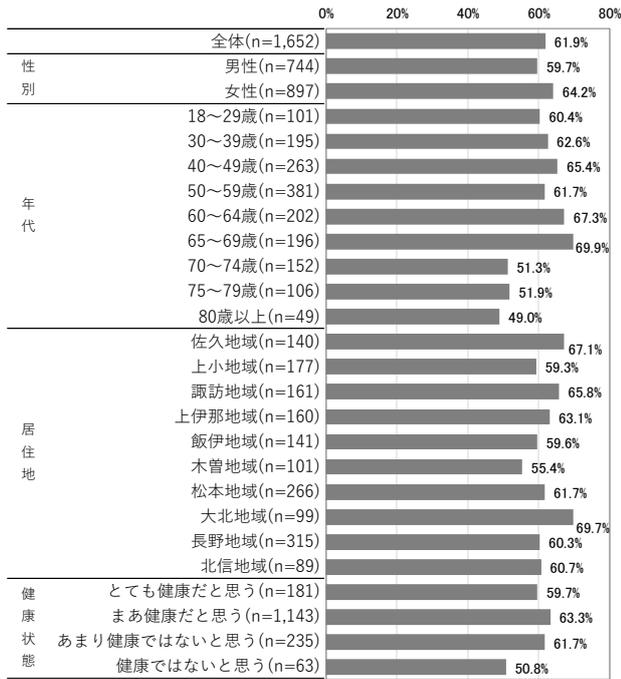
「医師は病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい」は、「女性」(64.2%)が「男性」(59.7%)よりもやや高く、69歳以下で6割を超えている。

「診察までの待ち時間を短くしてほしい」は、「男性」(46.0%)が「女性」(44.7%)よりもやや高く、30代、40代で5割を超えている。

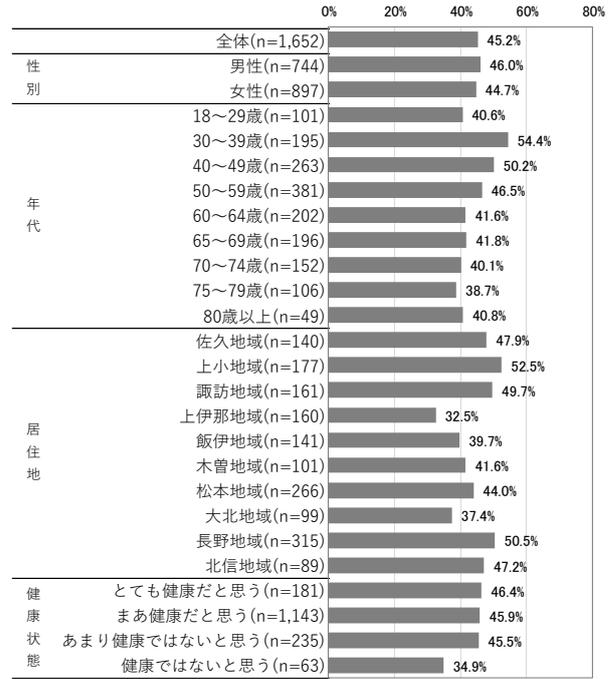
「休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい」は、男女の差は少なく、80歳以上は3割を超えており、他の世代よりも高くなっている。

「病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい」は、属性による差は少ない。

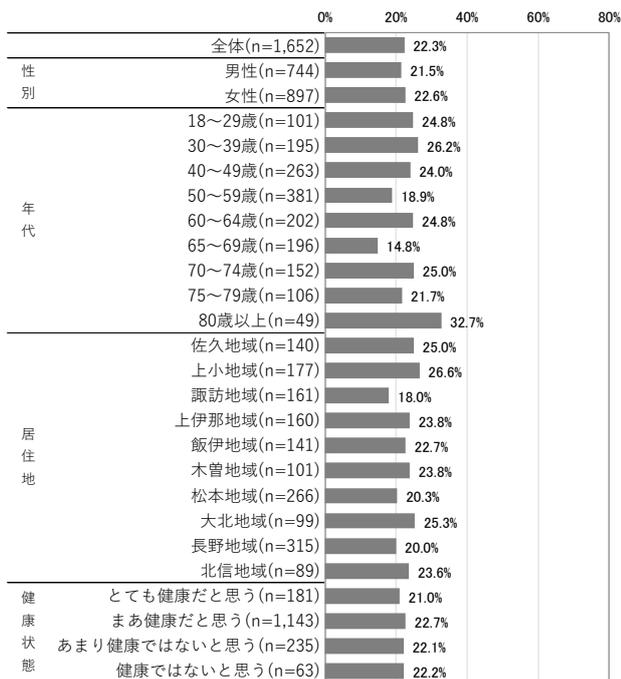




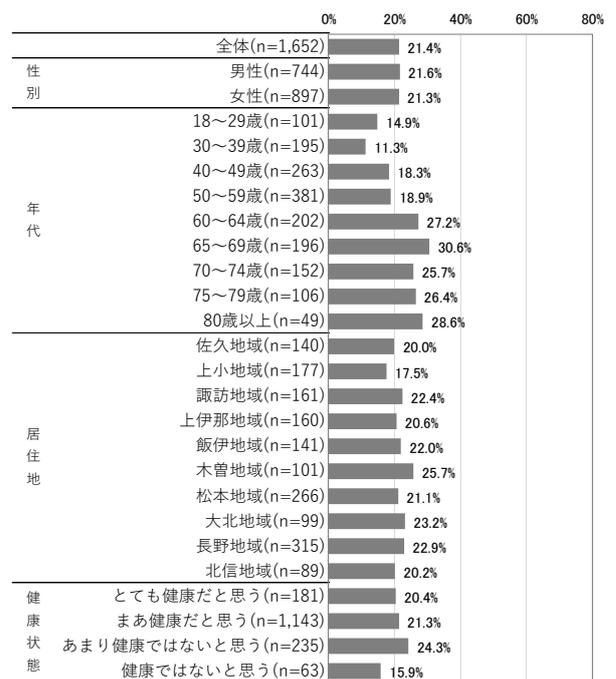
■ 医師は病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい



■ 診察までの待ち時間を短くしてほしい



■ 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい



■ 病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい

7. 地域の医療体制について

問25 あなたがお住まいの地域の医療体制について、どのように感じていますか。次の中から、1つお選びください。

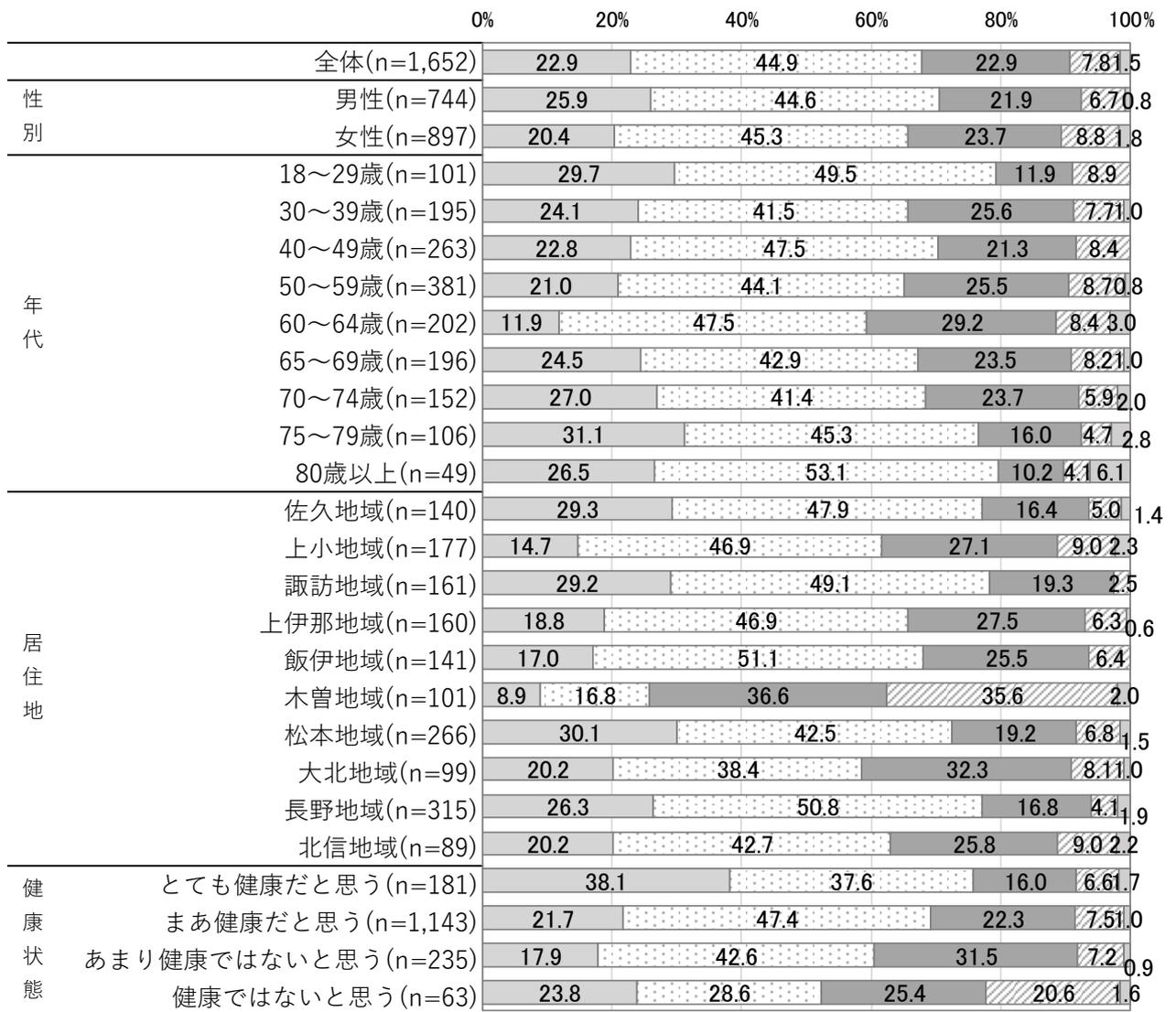
地域の医療体制については、「やや安心している」(44.9%)が約4割と最も多い。次に、「安心している」と「やや不安である」が22.9%で同率、「不安である」(7.8%)と続いている。「安心している」、「やや安心している」の回答割合の合計となる安心割合は67.8%、「不安である」、「やや不安である」の回答割合の合計となる不安割合は30.7%となっている。

性別にみると、安心割合は、「男性」(70.5%)が「女性」(65.7%)よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「18～29歳」と「40～49歳」と75歳以上で、安心割合が7割を超えている。一方、「60～64歳」(59.4%)では5割台となっている。

居住地別にみると、安心割合は、「木曽地域」(25.7%)で2割台と他の地域よりも低くなっている。また、「大北地域」(58.6%)で5割台と、やや低くなっている。

健康状態別にみると、健康だと思う人のほうが健康ではないと思う人よりも安心割合が高くなっている。



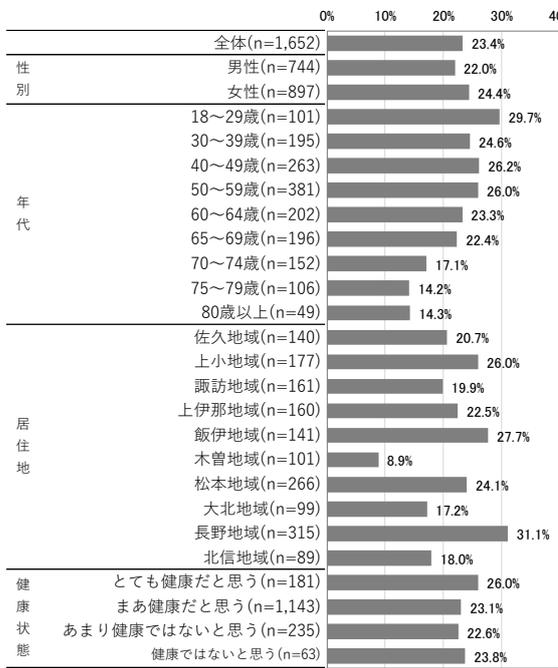
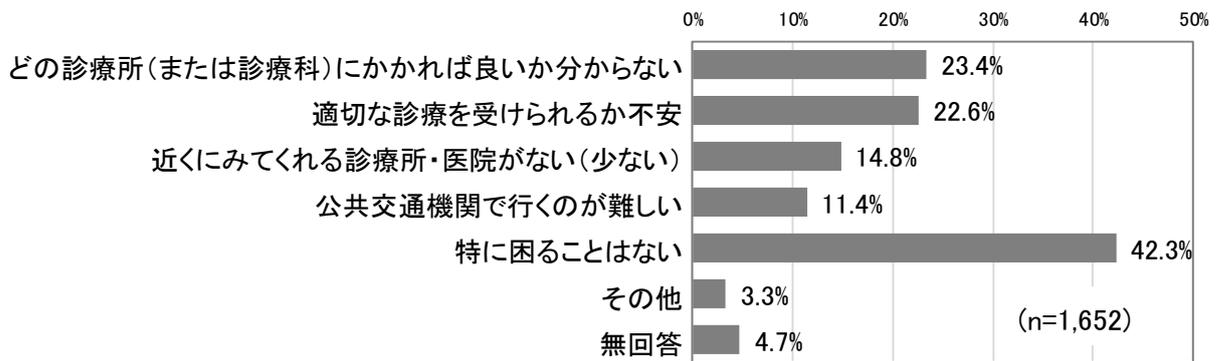
□安心している □やや安心している ■やや不安である □不安である □無回答

問 26 あなたが比較的軽い病気やケガで、診療所（医院・クリニック）を受診しようと考えた時、何か困ることはありますか。次の中から、2つまでお選びください。

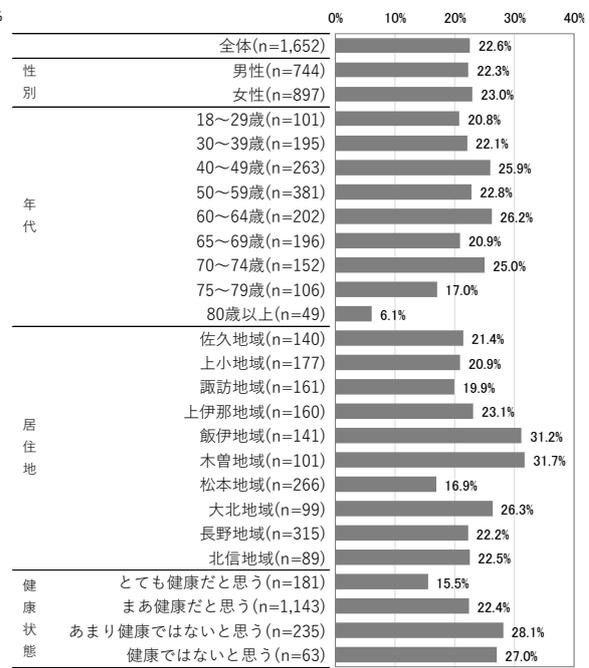
比較的軽い病気やケガで、診療所（医院・クリニック）を受診しようと考えた時に困ることは、「特に困ることはない」（42.3%）が4割と最も多い。次に、「どの診療所（または診療科）にかかれば良いか分からない」（23.4%）、「適切な診療を受けられるか不安」（22.6%）と続いている。

「どの診療所（または診療科）にかかれば良いか分からない」は、「18～29歳」（29.7%）で約3割と、他の年代よりも高くなっている。また、「上小地域」（26.0%）、「飯伊地域」（27.7%）、「長野地域」（31.1%）で約3割と、他の地域よりも高くなっている。

「適切な診療を受けられるか不安」は、「40～49歳」（25.9%）と「60～64歳」（26.2%）と「70～74歳」（25.0%）で約3割と、他の年代よりもやや高くなっている。また、「飯伊地域」（31.2%）「木曾地域」（31.7%）で3割を超え、他の地域よりも高くなっている。



■どの診療所(または診療科)にかかれば良いか分からない

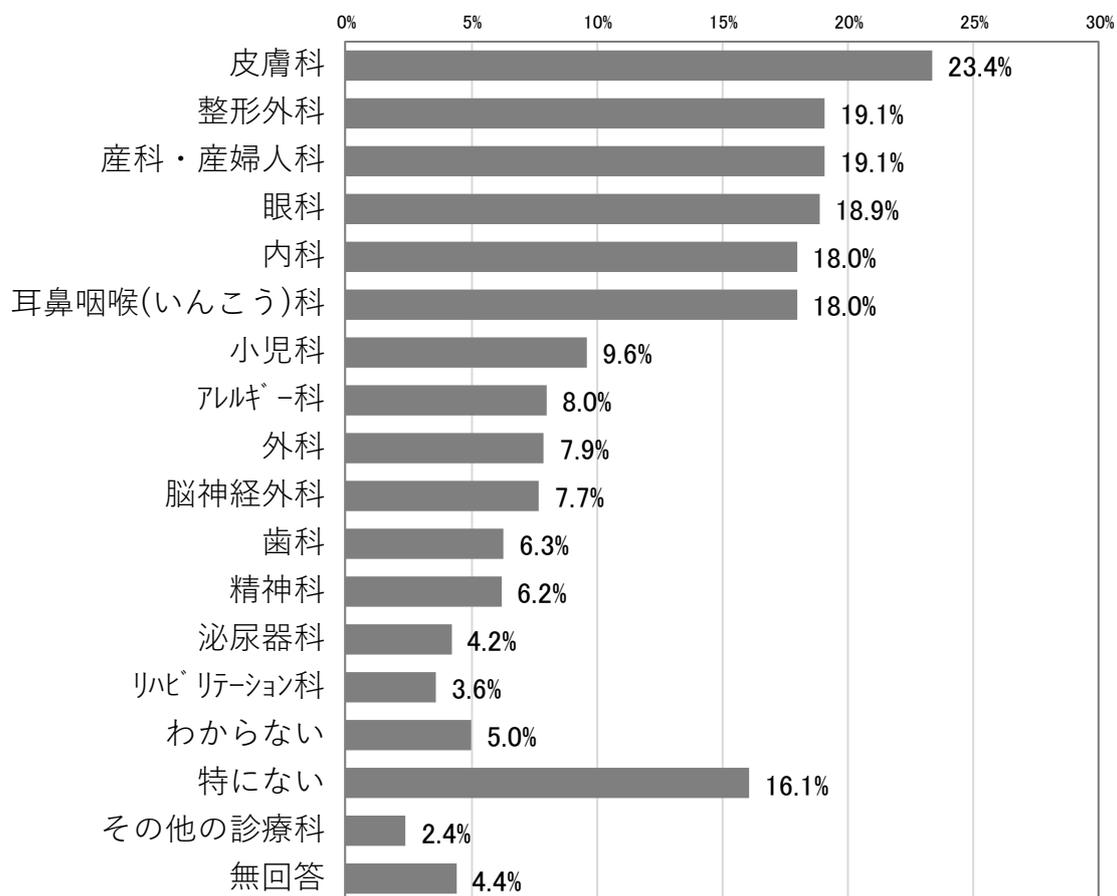


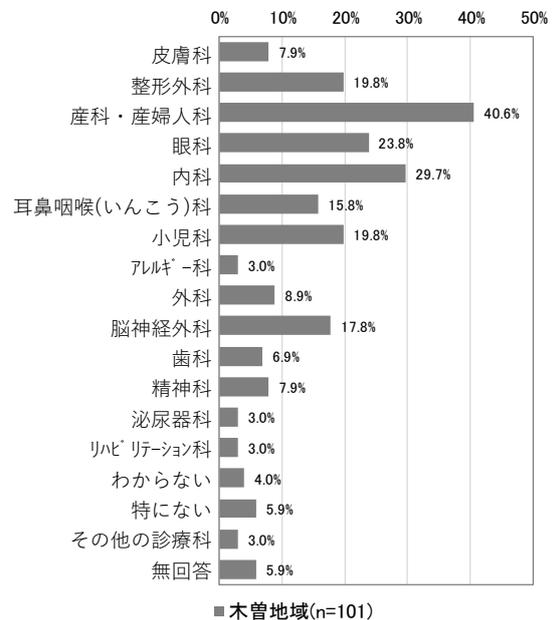
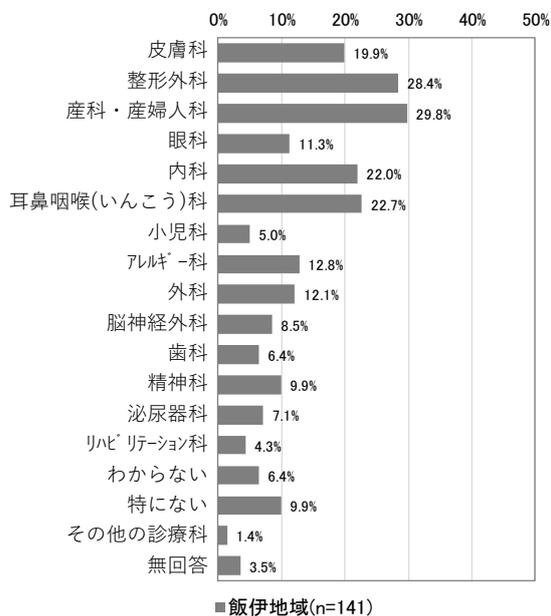
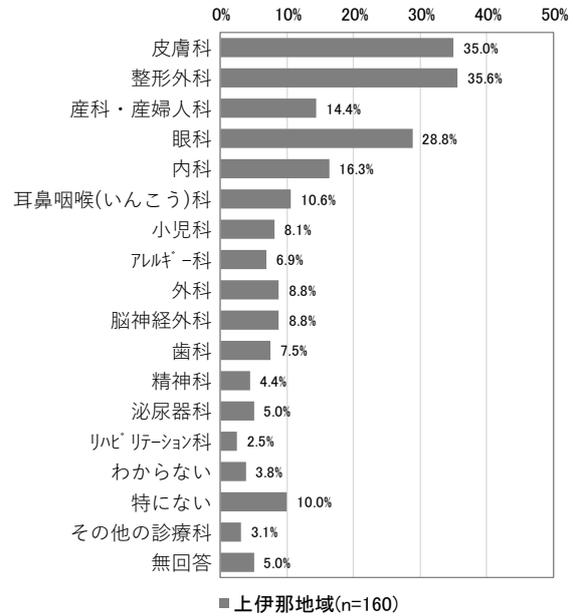
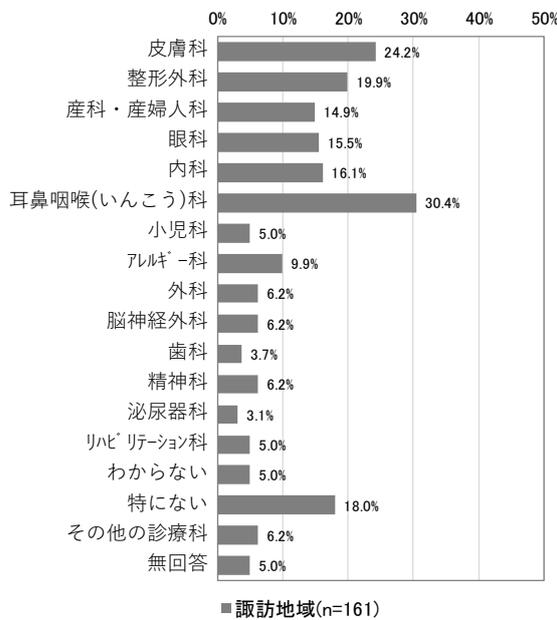
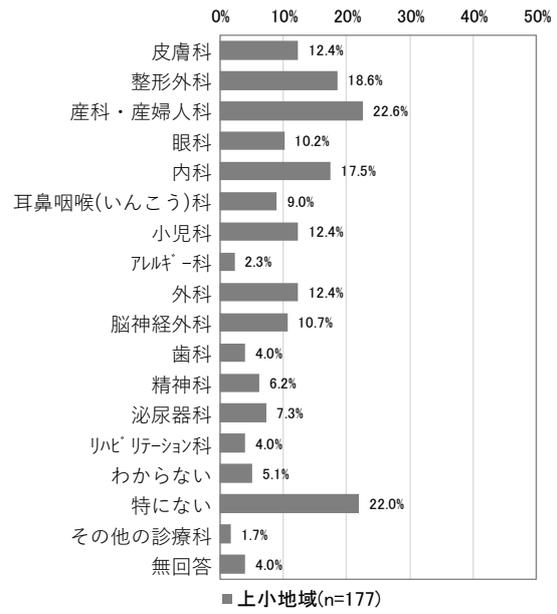
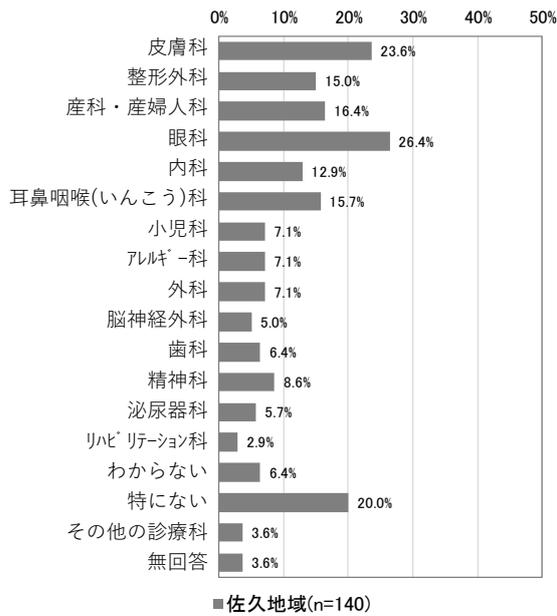
■適切な診療を受けられるか不安

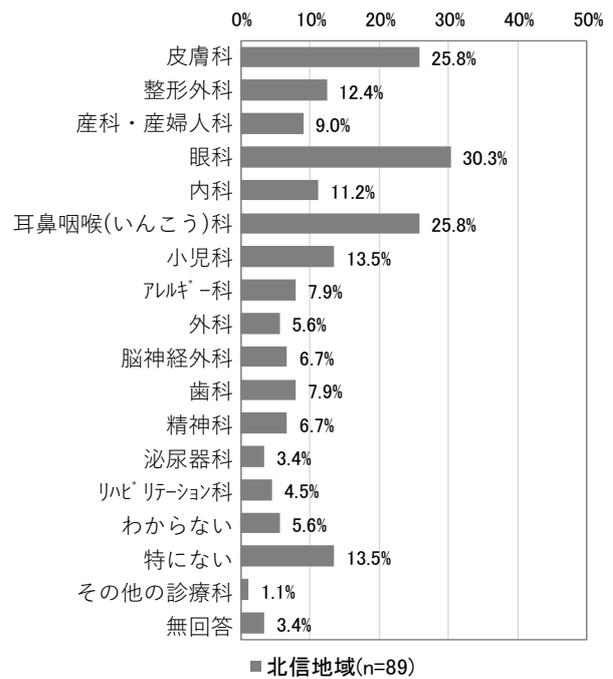
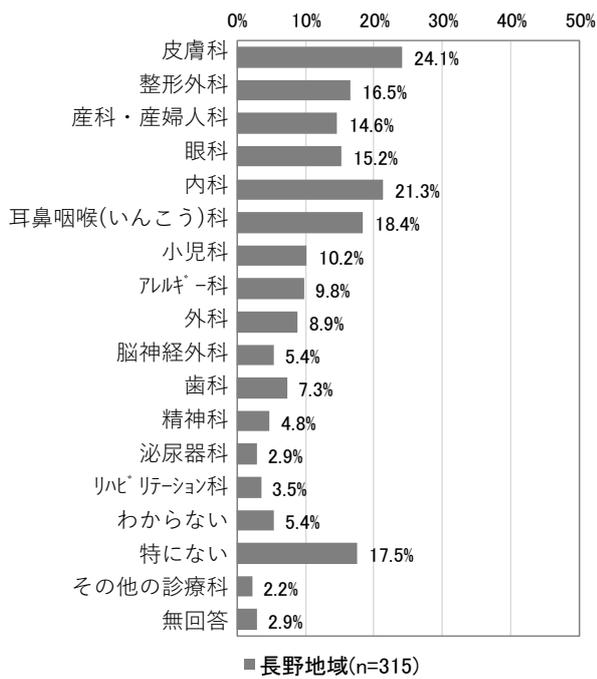
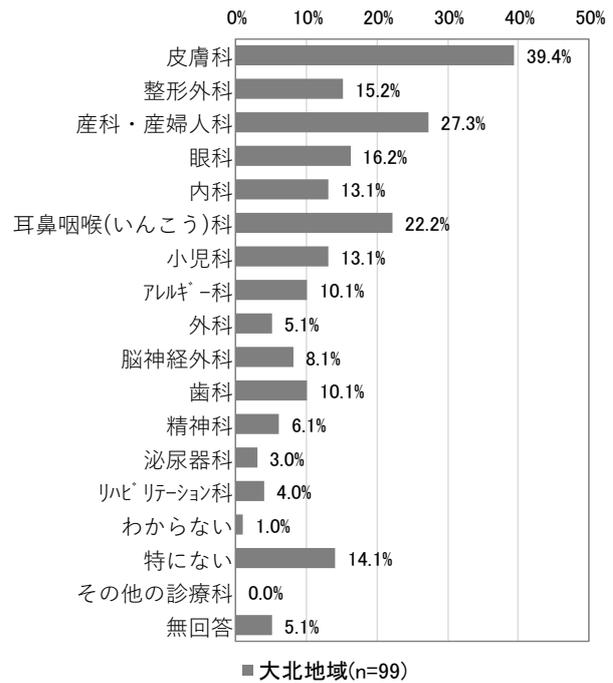
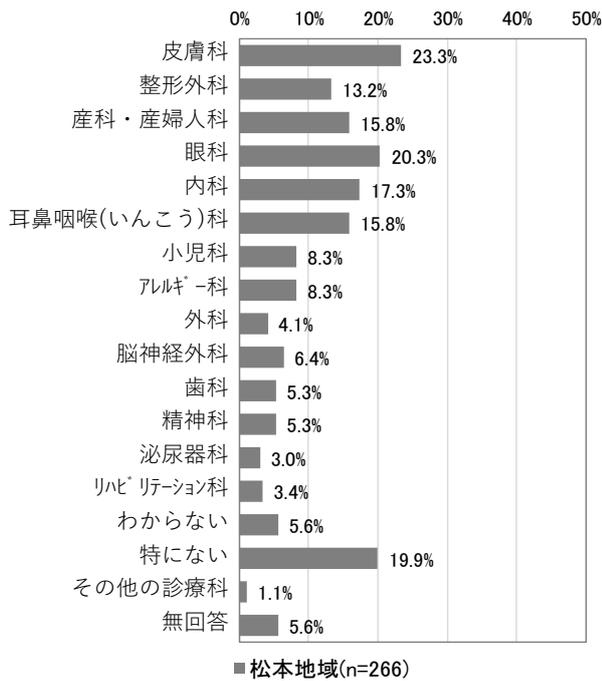
問27 あなたのお住まいの地域で、もっと充実してほしいと感じている診療科はありますか。次の中から3つまでお選びください。

地域で、もっと増えるとよい、充実してほしいと感じている診療科は、「皮膚科」(23.4%)が最も多い。次に、「整形外科」と「産科・産婦人科」が同率で19.1%となっている。

居住地別にみると、地域の状況により、診療科の内容が異なっている。







8. 在宅での医療について

問28 あなた自身が病気になり、医師が自宅を訪問することで入院せず生活できる場合、在宅医療を希望しますか。

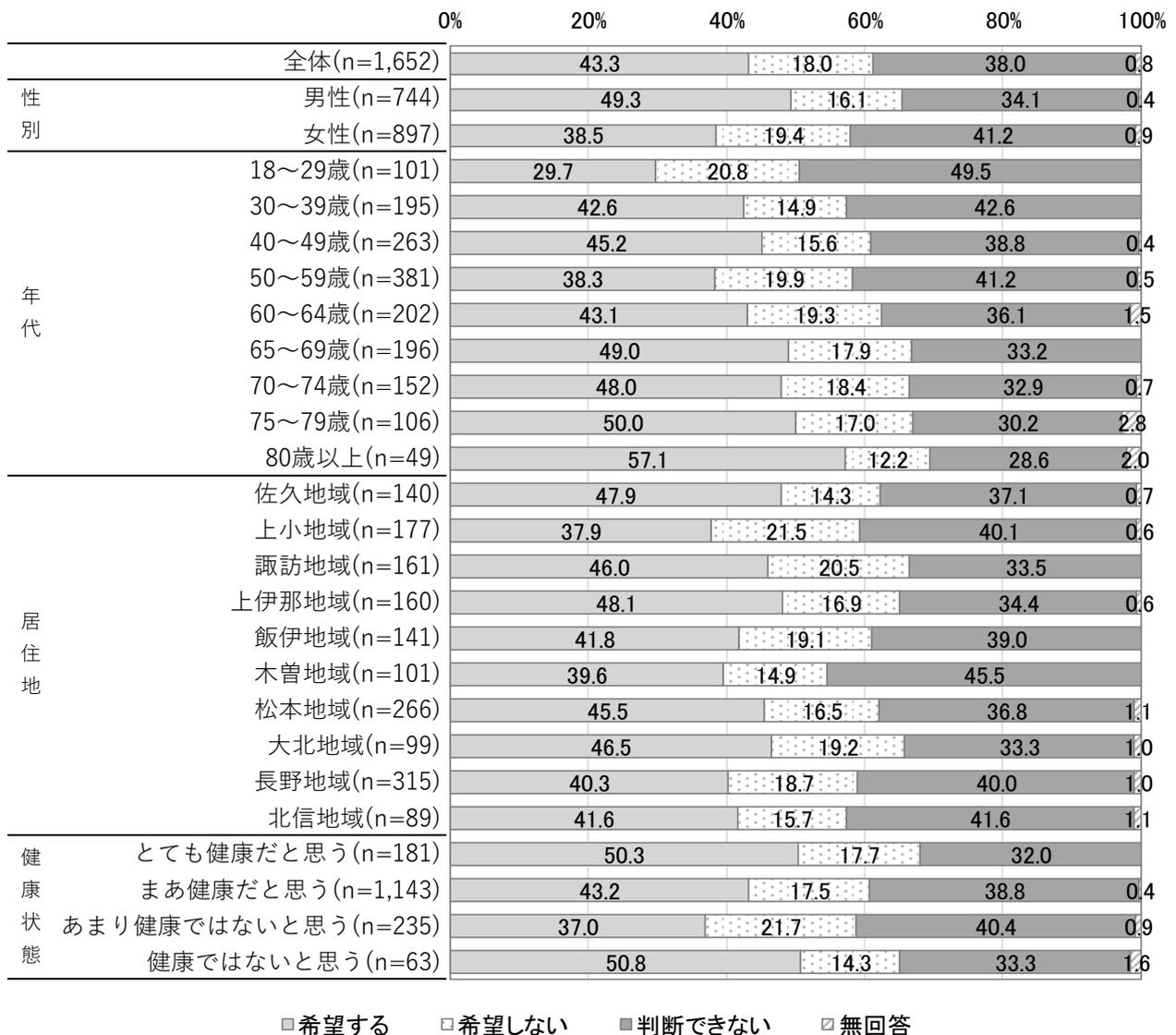
在宅医療を希望するかについては、「希望する」(43.3%)が約4割と最も多い。次に、「判断できない」(38.0%)、「希望しない」(18.0%)と続いている。

性別にみると、男女とも同じ傾向となっているものの、「希望する」は、「男性」(49.3%)が「女性」(38.5%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「希望する」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向がある。「18～29歳」(29.7%)では約3割であるものの、「30～39歳」(42.6%)で4割を超え、75歳以上では5割を超えている。

居住地別にみると、大きな差はみられない。

健康状態別にみると、明確な傾向はみられない。



問 29 問 28 で「1 希望する」と回答した方にお尋ねします。

希望する理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

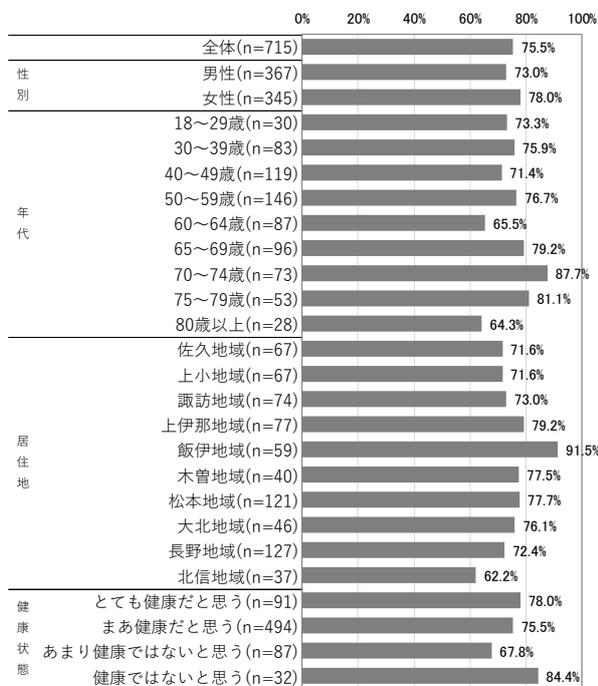
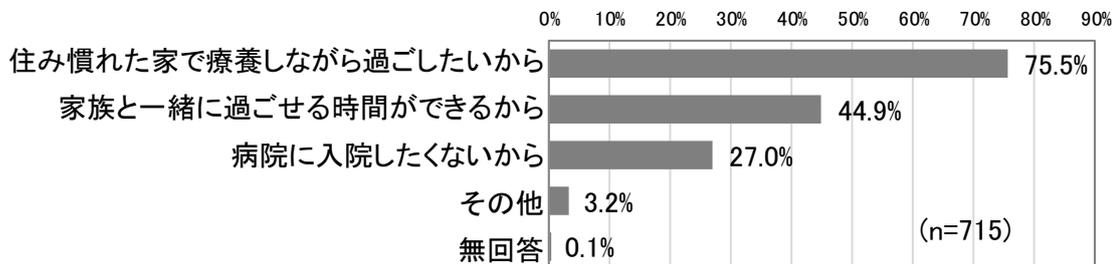
在宅医療を希望する理由については、「住み慣れた家で療養しながら過ごしたいから」(75.5%) が約 8 割と最も多い。次に、「家族と一緒に過ごせる時間ができるから」(44.9%)、「病院に入院したくないから」(27.0%) と続いている。

性別にみると、大きな差はないといえる。

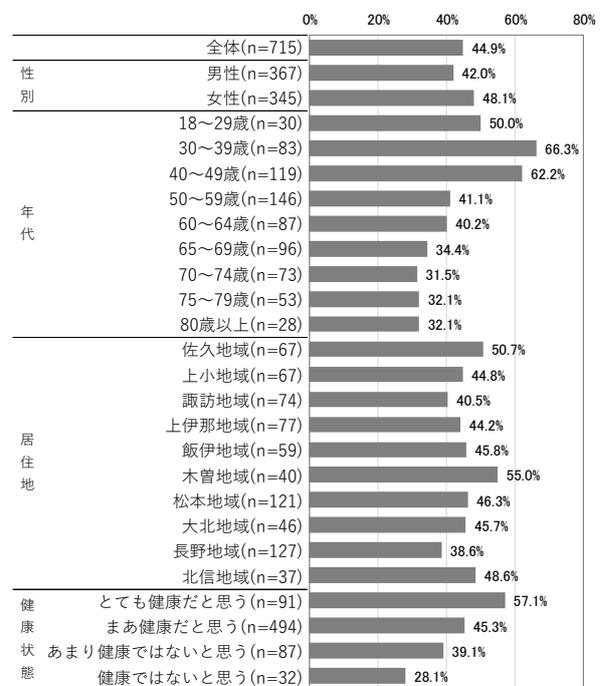
年代別にみると、70 代で「住み慣れた家で療養しながら過ごしたいから」が 8 割を超えてその他の年齢より高くなっている。

居住地別にみると、「飯伊地域」(91.5%) で「住み慣れた家で療養しながら過ごしたいから」が 9 割台と、他の地域よりもやや高くなっている。

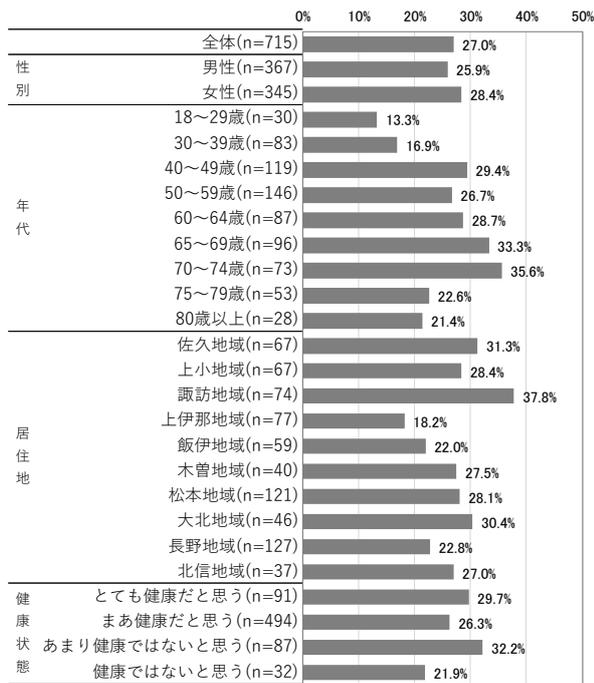
健康状態別にみると、健康だと思う人のほうが健康ではないと思う人よりも「家族と一緒に過ごせる時間ができるから」の割合が高くなっている。



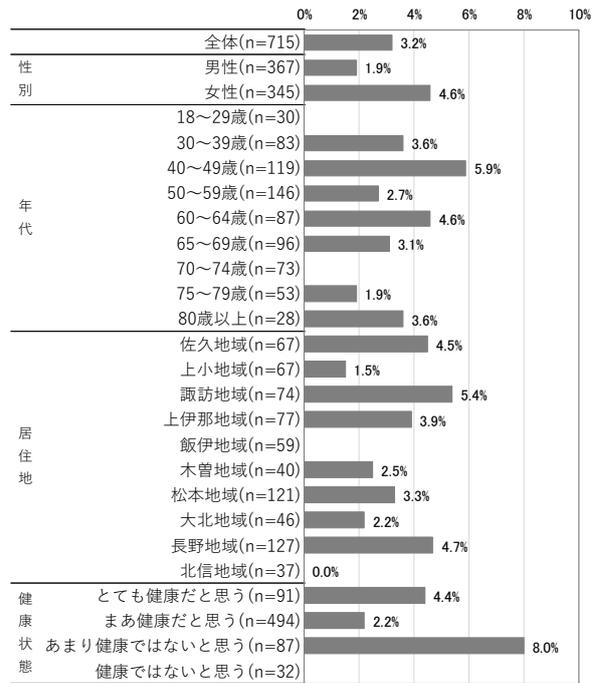
■住み慣れた家で療養しながら過ごしたいから



■家族と一緒に過ごせる時間ができるから



■ 病院に入院したくないから



■ その他

問30 問28で「2 希望しない」と回答した方にお尋ねします。

希望しない理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

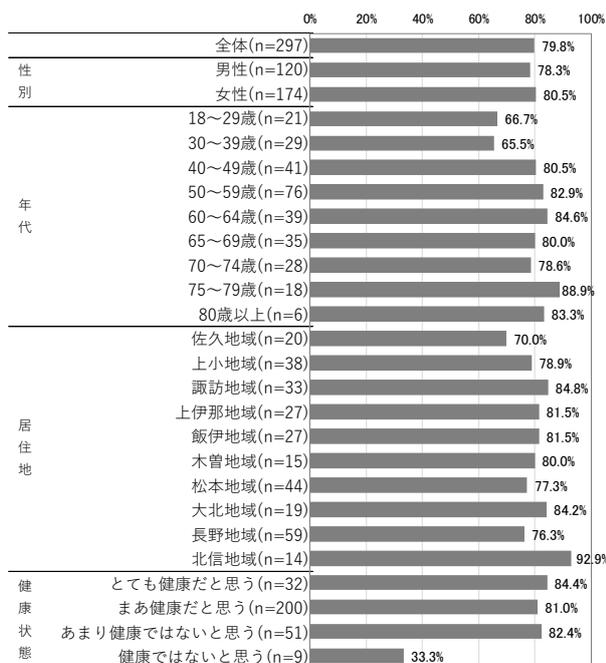
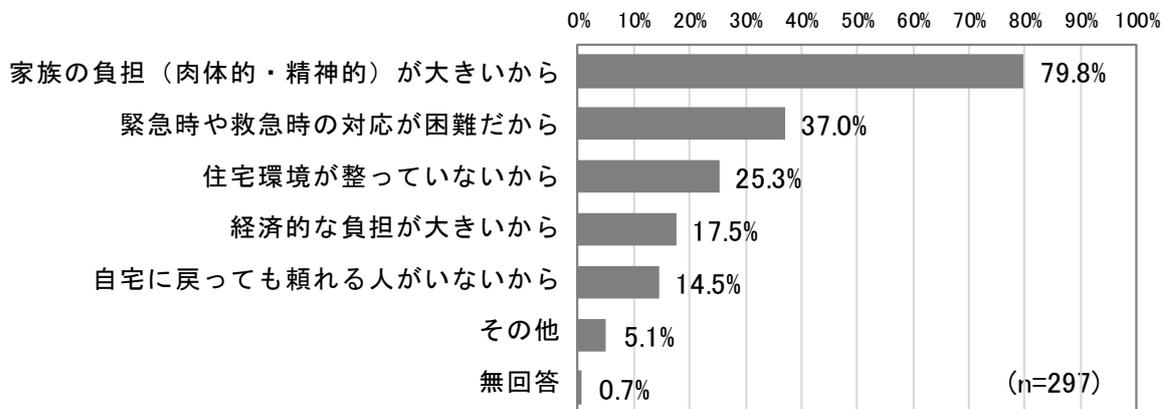
在宅医療を希望しない理由については、「家族の負担（肉体的・精神的）が大きいから」（79.8%）が約8割と最も多い。次に、「緊急時や救急時の対応が困難だから」（37.0%）、「住宅環境が整っていないから」（25.3%）、「経済的な負担が大きいから」（17.5%）、「自宅に戻っても頼れる人がいないから」（14.5%）と続いている。

性別にみると、大きな差はないといえる。

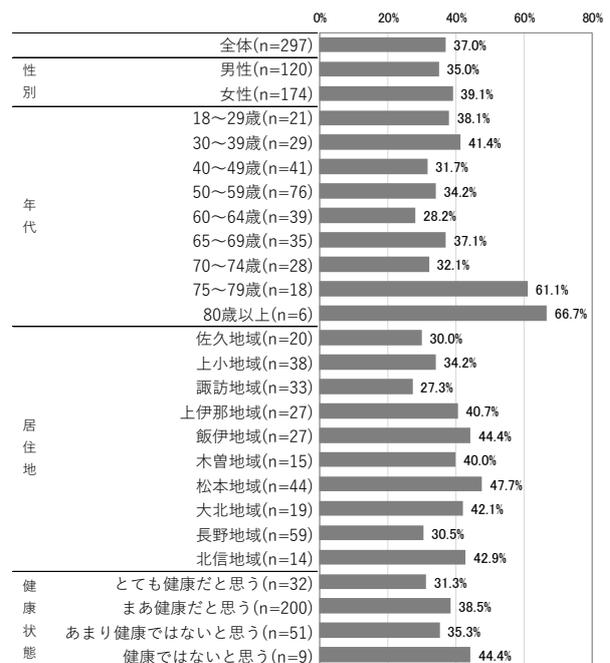
年代別にみると、「18～29歳」（66.7%）、「30～39歳」（65.5%）で、「家族の負担（肉体的・精神的）が大きいから」が6割台と、他の年代よりやや低くなっている。

居住地別にみると、「家族の負担（肉体的・精神的）が大きいから」は、「北信地域」（92.9%）、で9割以上となり、他の地域よりもやや高くなっている。

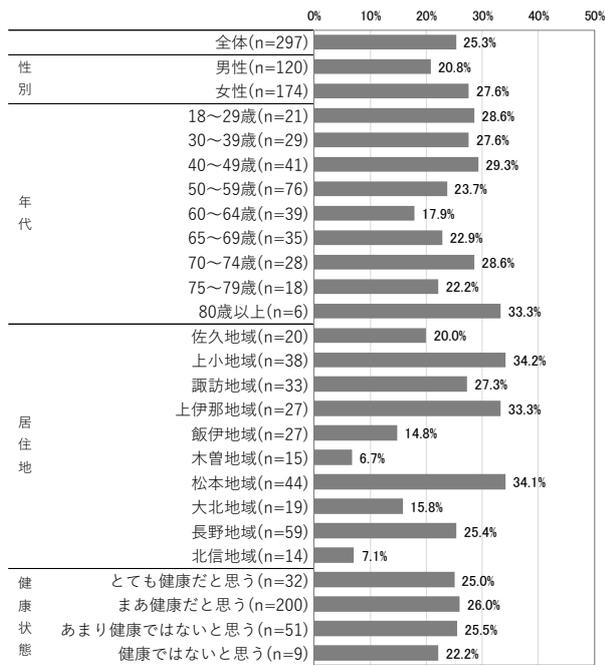
健康状態別にみると、「家族の負担（肉体的・精神的）が大きいから」は、「健康ではないと思う」（33.3%）で約3割となり、他の健康状態に比べて低くなっている。



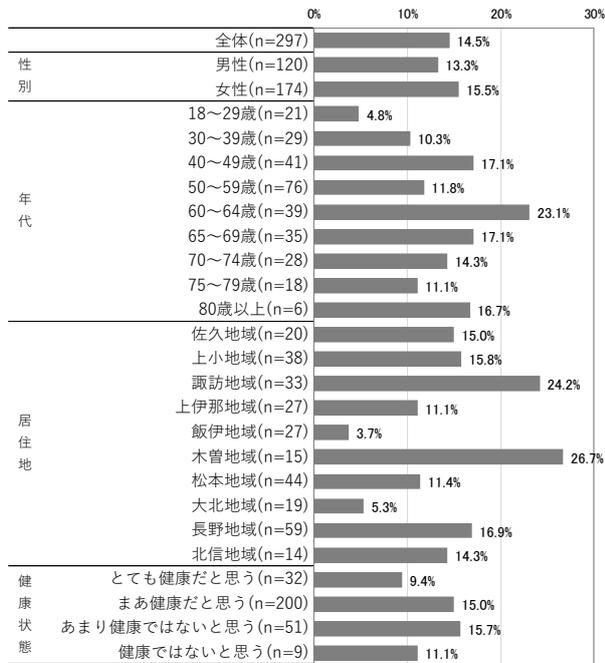
■家族の負担(肉体的・精神的)が大きいから



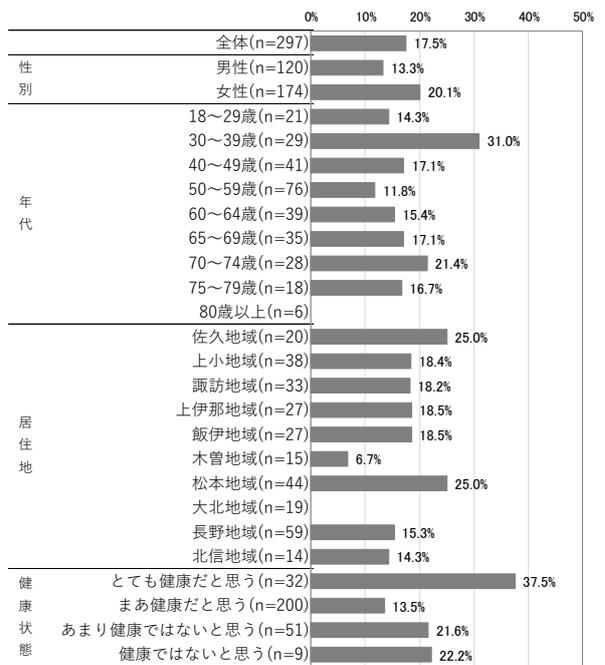
■緊急時や救急時の対応が困難だから



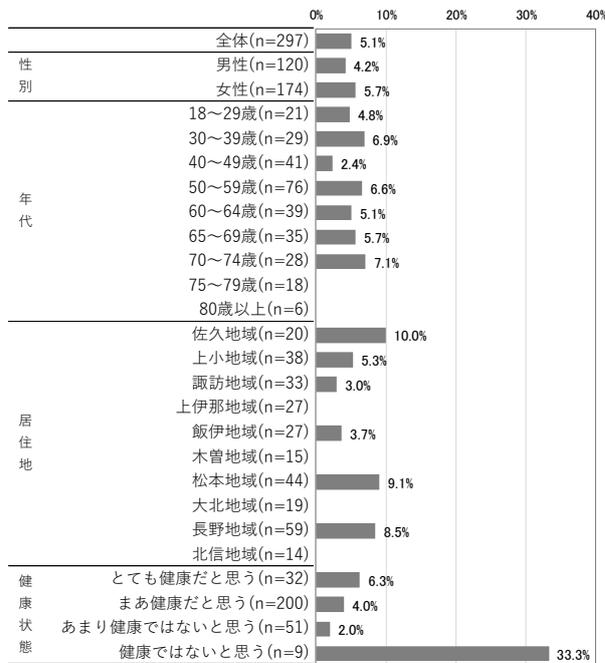
■住宅環境が整っていないから



■自宅に戻っても頼れる人がいないから



■経済的な負担が大きいから



■その他

問 31 問 28 で「3 判断できない」と回答した方にお尋ねします。

どのような情報があると判断できるとお考えですか。あてはまるものをすべてお選びください。

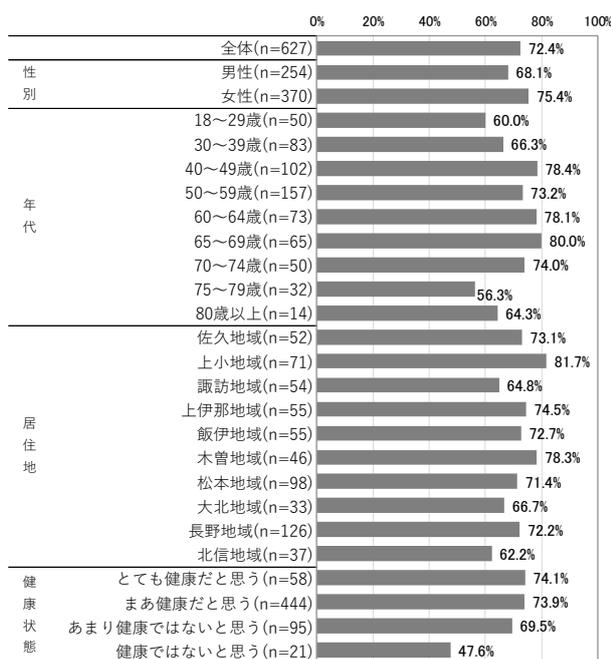
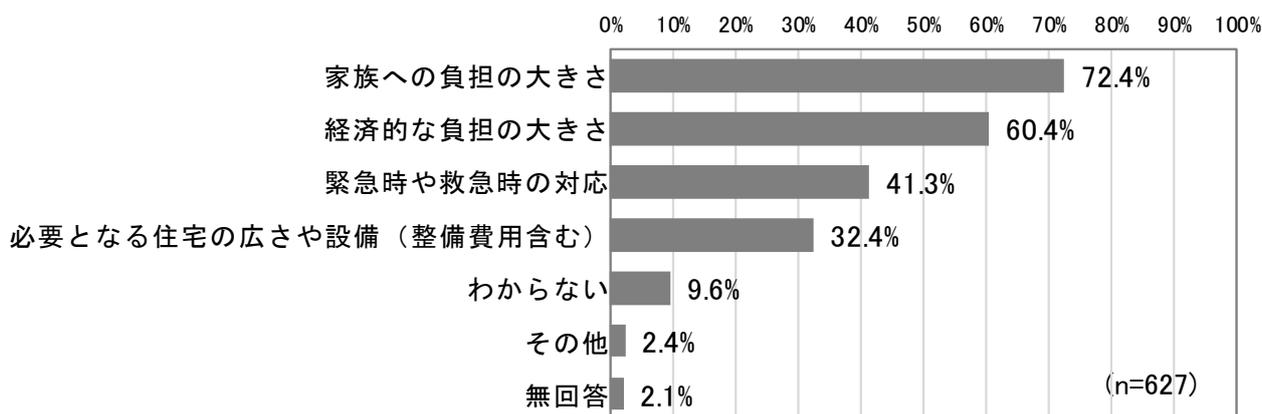
在宅医療をどのような情報があると判断できるかについては、「家族への負担の大きさ」(72.4%)が約7割と最も多い。次に、「経済的な負担の大きさ」(60.4%)、「緊急時や救急時の対応」(41.3%)、「必要となる住宅の広さや設備(整備費用含む)」(32.4%)と続いている。

性別にみると、男女とも同じ傾向となっているものの、「家族への負担の大きさ」は、「女性」(75.4%)が「男性」(68.1%)よりもやや高くなっている。

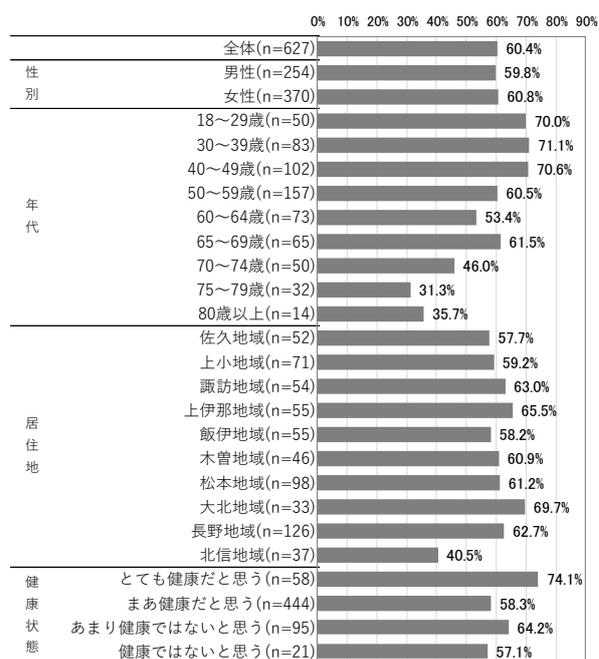
年代別にみると、39歳以下では、「経済的な負担の大きさ」が7割台となり、「家族への負担の大きさ」を上回っている。40歳以降は、「家族への負担の大きさ」のほうが「経済的な負担の大きさ」より上回っている。

居住地別にみると、「家族への負担の大きさ」は、「上小地域」(81.7%)で8割以上となり、他の地域よりもやや高くなっている。

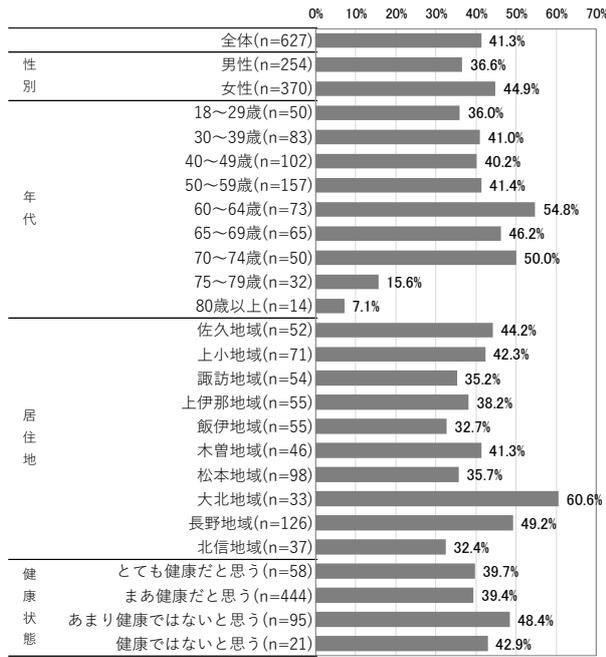
健康状態別にみると、健康だと思う人のほうが健康ではないと思う人よりも「家族への負担の大きさ」の割合が高くなっている。



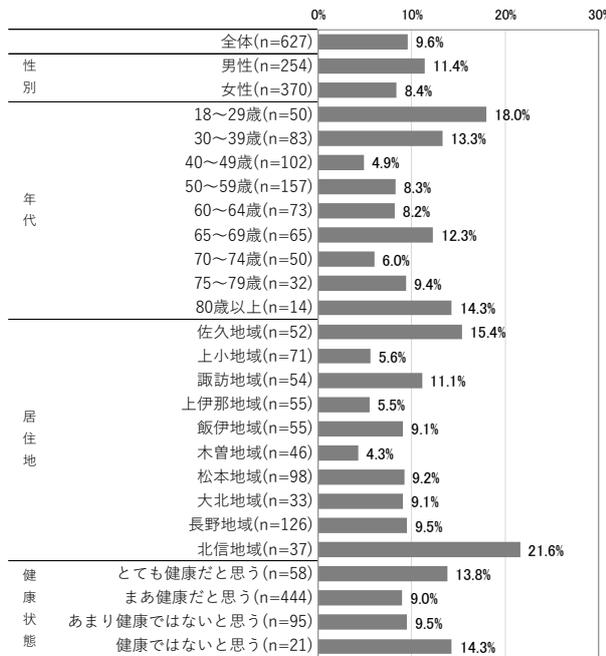
■ 家族への負担の大きさ



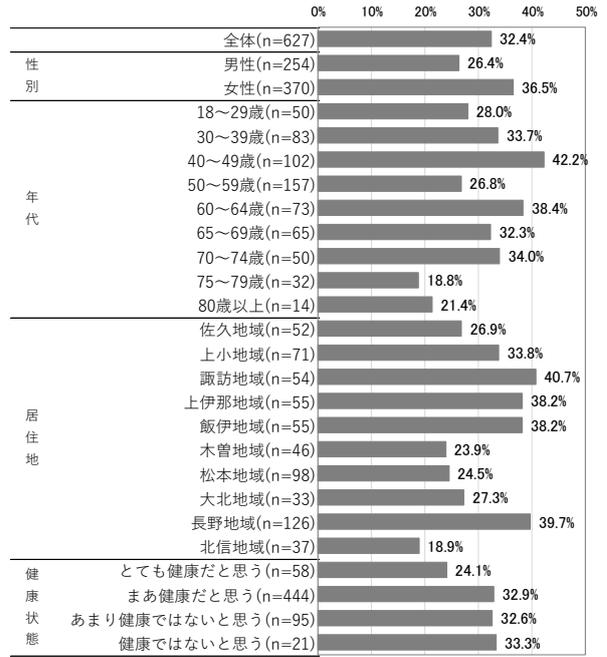
■ 経済的な負担の大きさ



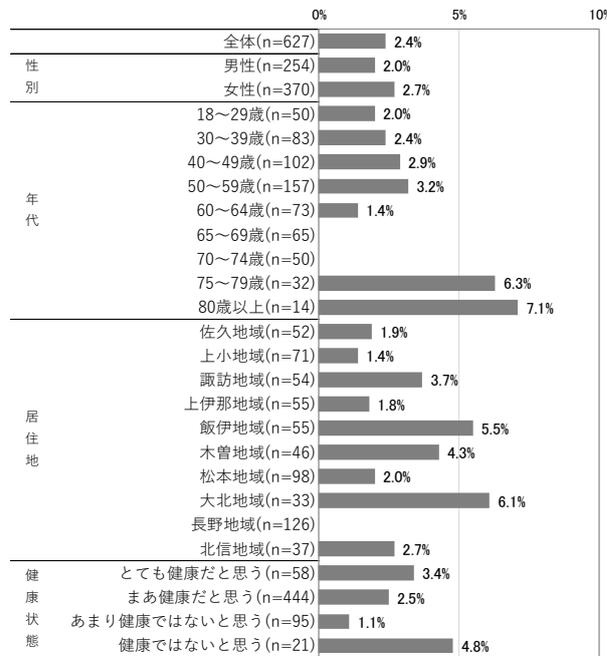
■緊急時や救急時の対応



■わからない



■必要となる住宅の広さや設備(整備費用含む)



■その他

9. 人生の最終段階における医療について

問 32 あなたは、ご自身やご家族の死が近い（病気が可能な限りの治療によっても回復の見込みがなく、近い将来の死が避けられない）場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。

自身やご家族の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療についての話し合いは、「話し合ったことはない」(57.9%) が約6割と最も多い。次に、「少し話し合ったことがある」(34.9%)、「詳しく話し合ったことがある」(5.4%)となる。「詳しく話し合ったことがある」、「少し話し合ったことがある」の合計は、40.3%となる。

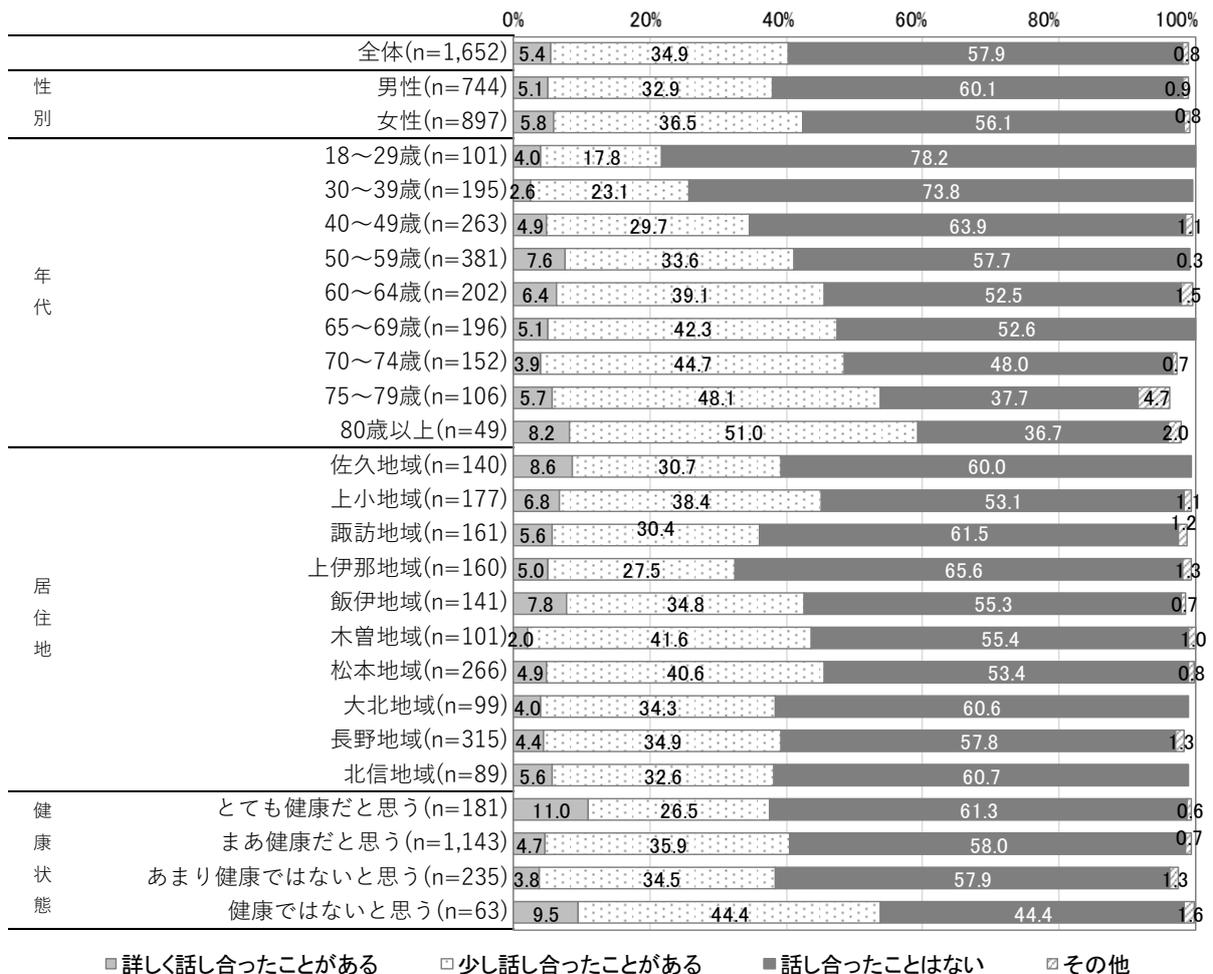
性別にみると、話し合ったことがある割合は、「女性」(42.3%)が「男性」(38.0%)よりもやや高くなっている。

年代別にみると、話し合ったことがある割合は、60歳以上で約5割と、他の年代よりも高くなっている。

居住地別にみると、話し合ったことがある割合は、「上小地域」(45.2%)、「松本地域」(45.5%)で約5割と、他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、話し合ったことがある割合は、「健康ではないと思う」(53.9%)で約5割と、他よりも高くなっている。

【無回答以外の回答状況】



問 33 問 32 でお伺いした、受けたい医療や受けたくない医療について、書面にしておくことについてどう思いますか。

受けたい医療や受けたくない医療についての書面化は、「賛成である」(59.0%)が約6割となる。一方、「わからない」(37.5%)は約4割となり、「反対である」は0.9%となる。

性別にみると、「賛成である」は、「女性」(64.1%)が「男性」(53.4%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「賛成である」は、59歳以下で6割を超えている。一方、80歳以上では4割台となっているなど、年代が上がるほど「わからない」が多くなる傾向がみられる。

居住地別にみると、「賛成である」は、「佐久地域」(63.6%)、「松本地域」(66.2%)、「大北地域」(60.6%)で6割を超えている。

健康状態別にみると、差は少ないといえる。

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
全体(n=1,652)		59.0	0.9	37.5	2.7		
性別	男性(n=744)	53.4	1.1	43.1	2.4		
	女性(n=897)	64.1	0.7	32.7	2.6		
年代	18～29歳(n=101)	67.3	0.0	31.7	1.0		
	30～39歳(n=195)	66.2	1.0	30.8	2.1		
	40～49歳(n=263)	65.0		33.8	1.1		
	50～59歳(n=381)	60.1	0.8	37.3	1.8		
	60～64歳(n=202)	55.4	1.5	41.1	2.0		
	65～69歳(n=196)	58.2	2.6	35.7	3.6		
	70～74歳(n=152)	50.0	0.7	44.7	4.6		
	75～79歳(n=106)	50.0	0.0	45.3	4.7		
	80歳以上(n=49)	40.8	2.0	49.0	8.2		
居住地	佐久地域(n=140)	63.6		34.3	2.1		
	上小地域(n=177)	54.2	1.1	41.8	2.8		
	諏訪地域(n=161)	55.3	0.6	42.9	1.2		
	上伊那地域(n=160)	59.4	1.3	36.9	2.5		
	飯伊地域(n=141)	59.6		39.0	1.4		
	木曾地域(n=101)	52.5	1.0	40.6	5.9		
	松本地域(n=266)	66.2	1.5	28.9	3.4		
	大北地域(n=99)	60.6		37.4	2.0		
	長野地域(n=315)	58.7	1.0	37.8	2.5		
	北信地域(n=89)	52.8	2.2	42.7	2.2		
健康状態	とても健康だと思う(n=181)	63.0	1.7	32.0	3.3		
	まあ健康だと思う(n=1,143)	59.5	0.7	37.7	2.1		
	あまり健康ではないと思う(n=235)	54.9	0.9	41.3	3.0		
	健康ではないと思う(n=63)	57.1	3.2	38.1	1.6		

■ 賛成である □ 反対である ■ わからない □ 無回答

問 34 あなたは将来、自分が最期を迎える場所として、医療機関（病院や診療所）と、居住の場（自宅やサービス付き高齢者向け住宅など）、介護保険施設（特別養護老人ホームなど）のどこを希望しますか。現時点のお考えに最もあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

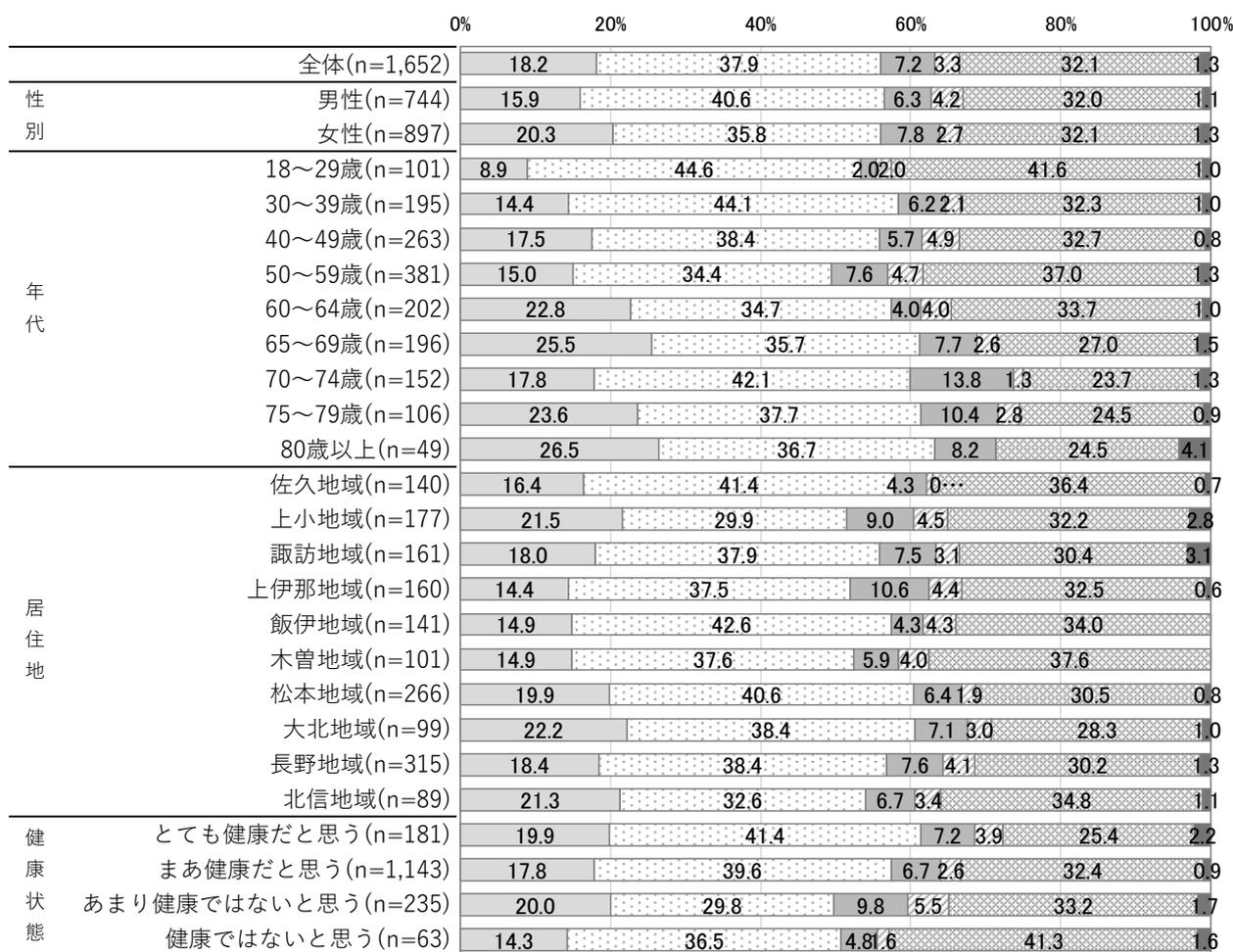
自分が最期を迎える場所は、「居住の場（自宅やサービス付き高齢者住宅など）で最期を迎えたい」（37.9%）が約4割と最も多い。次に、「わからない」（32.1%）、「医療機関に入院して最期を迎えたい」（18.2%）と続いている。

性別にみると、「居住の場（自宅やサービス付き高齢者住宅など）で最期を迎えたい」は、「男性」（40.6%）が「女性」（35.8%）よりもやや高くなっている。

年代別にみると、「居住の場（自宅やサービス付き高齢者住宅など）で最期を迎えたい」は、「18～29歳」（44.6%）、「30～39歳」（44.1%）、「70～74歳」（42.1%）で4割を超えている。

居住地別にみると、「居住の場（自宅やサービス付き高齢者住宅など）で最期を迎えたい」は、「佐久地域」（41.4%）、「飯伊地域」（42.6%）、「松本地域」（40.6%）で4割を超えて他の地域よりもやや高くなっている。

健康状態別にみると、差は少ないといえる。



- 医療機関に入院して最期を迎えたい
- 居住の場（自宅やサービス付き高齢者住宅など）で最期を迎えたい
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）で最期を迎えたい
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

・その他の回答について

問5 あなたが、もし体調が悪くて医師にみてもらいたいときどうしますか。次の中から、1つお選びください。

- ・かかりつけの病院、かかりつけ医に行く。(10件)
- ・近くや地域の総合病院に行く(2件)
- ・かかりつけ医から大きな病院へ
- ・その症状についてネットで調べてみる。
- ・遠方のクリニックへ行く。
- ・家で休んでいる
- ・近くに大きな病院があるのでそこに行く
- ・現在、地域の病院で入・退院している 大学病院へも通院している
- ・現在特養入所中
- ・現在病院で治療中
- ・口コミを探し、離れていてもいい病院に行く
- ・仕事が忙しすぎて、病院にいかせてもらえない。
- ・持病で大きな病院でみてもらっているので緊急でなければそちらにみてもらう
- ・症状、緊急性による
- ・体調不良の内容による
- ・東洋医
- ・民間の信頼できる病院 家から近いから
- ・友人の医療関係者に相談をする

問8 問7で「1 紹介状を待たずに受診したことがある」と回答した方にお尋ねします。

紹介状を持たずに受診した理由について、次の中から2つまでお選びください。

- ・救急対応(2件)
- ・夜間で緊急だったため(2件)
- ・3ヶ月ごとに受診しているから
- ・かかりつけ医が休日だった。
- ・ケガによる 時間外 当番医
- ・そこでドックを受け要検査の項目がありそこで検診を受け当該の科に行った
- ・以前、手術をしており、緊急であったことから受診した
- ・以前から定期的に受診している
- ・休日当番医だったから
- ・救急車で搬送されたのが大病院だった
- ・緊急手術になってしまったので
- ・交通事故に遭い緊急時だったため
- ・子供の夜間小児救急受診時に利用しました。
- ・地域病院に連絡したが専門医が不在のため(眼科)
- ・年2回定期的に経過観察が必要だから

問 11 問 10 で「1 ある」と回答した方にお尋ねします。

その時どのように対応されましたか。次の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- ・ 119番
- ・ 医療相談アプリで相談した
- ・ オンライン診療を利用した
- ・ かかりつけの医師の居る医院から救急車で搬送されたことがあった。
- ・ かかりつけの病院でないと対応が難しいから。
- ・ かかりつけの病院へ電話をして連れて行く
- ・ コロナかもと漢方薬を飲んだ
- ・ ネットで検索した。
- ・ 救急外来をやっている病院に電話相談した
- ・ 市販剤（おくすり）
- ・ 相談センターに電話をしても 30 分以上繋がらないこともあった
- ・ 病院へ直接電話し相談した
- ・ 父親が特養から肺炎で救急車を呼んだ

問 16 問 14 で「2 いない」と回答した方にお尋ねします。

かかりつけの医師を持たない理由としてあてはまるものを、次の中から 1 つお選びください。

- ・ あまり医者に行かないから（2件）
- ・ かかりつけの医師がお亡くなりになったため
- ・ かかりつけ医が亡くなり閉院された
- ・ かかりつけ医師は居ます。でも、何でも相談は出来ない。
- ・ カゼをひいた時くらいで今の所かかっていない
- ・ 金がない
- ・ 現在病院で定期的に受診が必要なので探していない
- ・ 今まででは必要とする病気になっていないから
- ・ 仕事を辞めない限り、病院には行けない。ならば、かかりつけ医は、いらない。
- ・ 子供がいるので自分の病院を後回しにしてしまうため病院受診をほとんどしていないから
- ・ 診療所内に複数の医師がいるが特定の医師は決めていない
- ・ 大病院へ
- ・ 転居が多く、医療機関を固定できていない
- ・ 土・日医療機関が休みだから
- ・ 病気ごとに専門医に通っているから
- ・ 普段健康で病院を受診する機会が少ないため、かかりつけ医がいない

問19 問17で「2 いない」と答えた方にお尋ねします。

かかりつけの歯科医師を持たない理由としてあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

- ・かかりつけの歯科が廃業、閉院してしまったから（6件）
- ・忙しいから（3件）
- ・10年以上歯科にかかってない
- ・行かせてもらえないなら、必要ない。
- ・かかりつけの歯科医院に複数の歯科医師がいる
- ・きらいだから
- ・その都度選ぶ
- ・前のかかったところに行くつもり
- ・引越し後医院を探していない
- ・詰め物が取れた時くらいで65才健診からかかっていない
- ・近辺になく、まだ見つけられていない
- ・金がない
- ・口内に異常があるときしか行かないから
- ・混んでいるなど種々の理由で歯科医をかえたので治療はしてもらってない
- ・最近歯科医院に行っていないから
- ・歯科治療は長く通院しなければならないと思うので、仕事の都合で通え続けられるかどうか分からないため
- ・治療内容により、受診する歯科医を変えている。
- ・先生が気にいらぬから
- ・直近5年以内で行く理由がなかったから。
- ・定期的に受診することはないから
- ・転居が多いため歯科を固定できていない
- ・転勤による引っ越しが多いため
- ・必要な時に行けるから

問21 問20で「1 はい」と回答した方にお尋ねします。

「かかりつけの薬局」にあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

- ・医院で薬を出してもらう（2件）
- ・かかりつけ薬局とドラッグストア
- ・処方箋処方
- ・薬をのんでいないため
- ・診察をしてもらった所で、薬を出してもらっている。
- ・院内処方以外は、かかりつけの薬局にてもらっている
- ・自分が薬剤師なので自分の薬局で薬をもらう

問 22 問 20 で「2 いいえ」と回答した方にお尋ねします。

「かかりつけの薬局」を持たない理由についてあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

- ・受診した病院の近くの薬局に行くから（18件）
- ・院内処方（7件）
- ・かかりつけ医から処方してもらっているから（5件）
- ・ほとんど病院に行かないから（2件）
- ・特に理由なし（2件）
- ・医院で処方を受けている（2件）
- ・かかった病院の近くの薬局に行くのが便利で医師が処方する薬も在庫があるだろうと思うから。
- ・かかりつけというほどではないから
- ・しっかりと受診を受けていないから
- ・その時（必要時）に行きやすい場所にある薬局へ行くから。
- ・その時の体調により病院の近くでもらう
- ・その時の病院の近くに行く
- ・その時々で帰る方向や利便性がある所へ行くから
- ・その都度病院の近くの薬局に行きたいから
- ・それぞれかかる場所によって、近くで処方してもらう
- ・どこでも同じ事を言われるので決めていない
- ・よくわからないので相談していない
- ・わからない
- ・医師だから
- ・医者にかかることがないので
- ・医療機関ごとの薬局
- ・医療機関で薬をもらえるから
- ・各医院が利用している薬局を使用
- ・近所に複数の薬局があるため、適宜使い分けているため（混雑回避等）
- ・金がない
- ・個人情報を知られたくないから
- ・今までは必要とする病気がなかったから
- ・時々で場所が違う為
- ・自身が薬剤師（現役）のため
- ・受診する場所が毎回同じでない
- ・受診をした医院の近くや営業時間などで薬局を選んでいるため
- ・受診後に近くの薬局を利用するため、症状により医療機関が違うため
- ・診療所での処方がある為
- ・待ち時間がない時は混んでいない薬局にする
- ・探し方がわからない
- ・通院した病院が変われば薬局も近くの利用するため変わるから

- ・特に意識した事が無い
- ・内服していない
- ・入院している病院からと大学病院から治験の薬を処方してもらっている
- ・必要な時に、行きやすいところで処方してもらっている
- ・病院に行かないから
- ・病院の近くの薬局に行くので、行く病院によって行く薬局が変わるため
- ・病気にならない
- ・病気に応じて変わるから
- ・服用が少ないから
- ・病院を受診することがあまり無いので
- ・薬はかかりつけ医（内科）の院内処方なので
- ・薬は医院でもらっている
- ・薬を飲むような健康状態にあまりならないから
- ・薬を飲んでいないから
- ・薬局がたくさん有るから

問 23 あなたが医療機関を探す場合、どのように探していますか。次の中から、3つまでお選びください。

- ・Google などインターネットの口コミ（2件）
- ・地図アプリ（2件）
- ・Google マップの口コミ
- ・遠いが、総合病院のほうがよい
- ・休日の当番医にかかり、そこから通うようになった（歯医者）
- ・出版社の医療ガイド
- ・小さい頃から病院に行っているから、その継続
- ・祖父母が通っている病院
- ・待ち時間が少ない
- ・大きい病院から出て、診療所を開業した医師に付いて行った
- ・知人の勤めている医療機関
- ・電話帳
- ・働いている病院
- ・年1の人間ドックの病院へ

問 24 医療機関での病気の診察や治療に関して、どのようなことを望みますか。次の中から、3つまでお選びください。

- ・特になし（13件）
- ・お会計の時間を短くしてほしい（2件）
- ・ネット予約を始めてほしい（2件）
- ・●●病院があるので緊急時はたすかる
- ・かかりつけ以外のケガの時
- ・クスリの出るのがおそい

- ・まだ考えた事がない
- ・リハビリテーション
- ・医療機関へ行く必要がない
- ・近くの病院で迅速に検査や手術ができる環境を維持してほしい
- ・金がないので受診しない
- ・現在、診察や治療に満足しています
- ・今のままで良い
- ・今の機関で満足しているので、別にない。
- ・質のいい医療の提供をお願いしたい。
- ・初診でもインターネット予約できるようにしてほしい
- ・心理カウンセラーをおいてほしい
- ・診察や治療の前に、通える範囲の中で病院、医院が閉院し受診できる場所が少なくなっている。医師や病院が続けられる体制を作ってほしい。
- ・診療予約などインターネットで出来ると待ち時間が減る
- ・昼や夕方方の診療時間。会社員として働いている時間にしか診療時間がないため、行きたくても行けない事がある。
- ・年齢の一言で終らせてほしくない。
- ・病院にかからないように医療を施してほしい
- ・病気を全部治して欲しい。
- ・不満はない
- ・平日は患者数が限られてしまうので、緊急の時は対応してほしい
- ・無駄な検査はやめてほしい
- ・予約のみの医院が多すぎる
- ・予約をしないとみてもらえない病院が多くて嫌。
- ・話せるように具体的な質問をしてほしい

問 26 あなたが比較的軽い病気やケガで、診療所（医師・クリニック）を受診しようと考えた時、何か困ることはありますか。次の中から、2つまでお選びください。

- ・待ち時間の長さ（5件）
- ・お金、費用（3件）
- ・●●診療所では小児科医の先生が来ない
- ・いつも混んでいる。どこも。
- ・かかりつけ医が休診日に具合が悪くなる時が多いため
- ・クリニックはどこも混んでいるので受診しにくい
- ・この程度のケガで受診してよいかどうか迷うこと。結果的に処置（縫合）してもらえたのでよかった経験がある
- ・この程度の病気、ケガで受診してよいのかと悩みます
- ・タクシーの営業時間が短い。又、台数が少なくタクシーを使えない時があつて困る。
- ・ちょっとした受診でも、待ち時間がすごい長い
- ・どれくらい時間がかかるか読めない

- ・ネット予約が多くなり飛び込みでの受診がしにくくなっている。駐車場がいっぱいのことが多い
- ・医師や専門医が少なかったり、いない
- ・科によって休診日がある
- ・休診だった時
- ・休日、夜間、緊急の時
- ・近くに良い病院がない
- ・近所の病院は高齢者が多く、有給を取っていてもものすごく待たされる。
- ・軽い症状での受診では医師に怒られてしまうので迷う
- ・軽い場合に、受診してもよいか不安になる。
- ・今は運転出来るが出来なくなった時に不安
- ・混みすぎて、待ち時間が長過ぎる
- ・混んでいて時間がかかる
- ・時間が限られている
- ・主にお世話になっている医院が同じ休診日で困ったことがあります
- ・受付終了時間が早い
- ・常に診療所の医師が不在である時もあり不安である
- ・診察・受付時間がライフスタイルに合わない（夕方の受付時間の延長や、土、日も受診できる病院を希望したいです）
- ・診察に時間がかかる（待ち時間、会計、薬局）
- ・診察の時間が限られるため、みてもらえない曜日がある
- ・診療受付時間が短い（午前中だけ）
- ・専門の科 皮フ科や整形など少ない。そのため混んでいる。
- ・長時間の待ち時間の負担を感じる（内科）
- ・独居のため何かと心細い
- ・内科は多いが、他の診療科がない 病院は紹介状がないと初診料のほかに追加費用がかかる
- ・日曜日は休みの時、内科以外の時
- ・熱などがある時は受け入れてくれる病院がどこにあるかが分かりにくい
- ・年を取ったとき、車で通えない
- ・皮フ科が少なくとても混んでいて仕事や学校終わりにかかれない
- ・病院にかかるべき事態か、判断がつかずに我慢してしまう
- ・訪問看護に相談している
- ・夜間（仕事がぬけないので）みてる病院がない
- ・予約がとれるか不安
- ・予約が取りにくい
- ・予約なしで行くとすごく待たされる
- ・流れ作業に、しっかりみてもらってない
- ・臨時の休診や、短縮の診察時間

問 27 あなたのお住まいの地域で、もっと充実してほしいと感じている診療科はありますか。

次の中から3つまでお選びください。

- ・総合診療医、総合診療科（8件）
- ・心療内科（3件）
- ・循環器科（2件）
- ・ガン
- ・ペインクリニック
- ・レディースクリニック
- ・漢方科（東洋医学）
- ・緩和ケア
- ・血液内科
- ・呼吸科
- ・口腔外科
- ・更年期外来
- ・子供の発達相談の病院
- ・循環器専門科、心臓などの手術の充実
- ・循環器内科
- ・消化器内科
- ・総合内科
- ・大規模な総合病院
- ・頭痛外来
- ・認知症、もの忘れ科
- ・認知症に関わる診療科
- ・発達障害の自動・成人を診る場所
- ・皮フ科形成外科
- ・美容外科
- ・肛門科

問 29 問 28 で「1 希望する」と回答した方にお尋ねします。

希望する理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- ・1人暮らしで動けない（高齢など）場合に助かると思う
- ・1番近い総合病院まで1時間近いので
- ・お金がかかるから
- ・ひとり親なので私がいなくなると子供が1人になってしまうから
- ・ペットの世話があるから
- ・医療は在宅でできる最低限のことで良い。看取りが良い
- ・医療費を減らしたい。家族に通院の負担を減らしたい。
- ・一人ですべてできる状態なら家で過ごしたい
- ・一人の生活なので訪問してもらえるのならありがたい
- ・家にいたいから
- ・家族に負担がかからないならば、在宅治療を希望します

- ・高齢となった時
- ・仕事に支障が出てしまうから。
- ・子供がまだ小さいから
- ・自分がトイレに行けるぐらい動ける状態なら自宅を希望。動けない場合は家族の負担を考え、病院を選ぶ
- ・生きていくことは病気を治すことだけではない。病気を治すことに専念する時は入院したいが、そうでない時は普通の生活を送りたい。
- ・乳児がいて通院が難しいから
- ・病院に入院できない場合があるから
- ・病気の程度によります。負担が多い場合は別（家族にです）
- ・病状にもよる
- ・本当に必要な人に入院ベッドを、渡したいから

問 30 問 28 で「2 希望しない」と回答した方にお尋ねします。

希望しない理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- ・今の所体調良好
- ・医療体制の整った場所で原因を調べる確な処置をして欲しい
- ・自分が医師だから
- ・医師の方に迷惑をかけたくない。
- ・独り暮らしなので
- ・入院保険に入っているから
- ・気がねである
- ・何かあった時病院の方が安心するから
- ・医療従事者の負担が大きい。また効率が良くない
- ・僻地なので医者が、大変そう
- ・自分が不自由な時に他人が家に入ることに抵抗があるから
- ・来ないで欲しい。
- ・病院の方が安心だから
- ・人を家に入れたくないから

問31 問28で「3 判断できない」と回答した方にお尋ねします。

どのような情報があると判断できるとお考えですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- ・その時にならないとわからない。
- ・まだよくわからない。想像がわからない
- ・医師の負担は増えすぎないのか
- ・期間や病気によるので
- ・金がない
- ・時期がきた時。役場保健センターにきく
- ・自分だけでは決められない
- ・自分の状態によっては、家族にかかる負担が大きいため簡単には希望できない。ただ自分ではなく家族が病気になり本人が希望するのなら在宅医療は選択肢として充分考えられる。

- ・疾患によって変わるから
- ・出来るだけ通院で完結したい
- ・医師の技量
- ・他の人に迷惑をあまりかけずにすむなら在宅医療をうけたい
- ・費用
- ・病気によるから
- ・病状により自分では判断できかねる

問 32 あなたは、ご自身やご家族の死が近い（病気が可能な限りの治療によっても回復の見込みがなく、近い将来の死が避けられない）場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。

- ・ 1人だから
- ・その機会がまだない
- ・その場面になった経験がない。
- ・医療従事者等、経験豊富な人から、助言でもない限り、話し合いにはならない。
- ・延命治療はしないで
- ・金がない
- ・具体的な事まではない
- ・見送ったので
- ・主人と二人暮らし。主人は介護施設利用
- ・世間話程度
- ・特にこれが話し合っているのではなく会話の中で自然体で話してます
- ・独身、独り身
- ・話し合わないで後悔した事がある

問 34 あなたは将来、自分が最期を迎える場所として、医療機関（病院や診療所）と、居住の場（自宅やサービス付き高齢者向け住宅など）、介護保険施設（特別養護老人ホームなど）のどこを希望しますか。現時点のお考えに最もあてはまるものを、次の中から1つお選びください。

- ・どこでもよい（5件）
- ・家族の迷惑・負担にならない場所（5件）
- ・家族に負担がかからない場所であればどこでもよい（3件）
- ・家、自宅（3件）
- ・1人だから
- ・お金がかからない場所
- ・グループホーム
- ・その時、その状態で最善であればどこでもよい
- ・その時によって違う方向があると思うので
- ・その時の運のみ
- ・その時の現状によって、どこでも良い
- ・その時の状況に応じて考えたい。

- ・その時の状態による。
- ・その時の年齢による
- ・まだ考えていません
- ・わからないところ
- ・一人でいいかな
- ・家族が困らず、自分が苦しまなければ場所は問わない
- ・家族の負担を考えなければ家で最後をむかえたい
- ・家族へ負担はかけたくない。私よりも家族が望む場所へ
- ・海
- ・各施設ごとの内容違いが不明
- ・近親者にとって、最も手間のかからない場所
- ・経済状況や家族の状況に応じて希望する
- ・現在は健康に暮らしているので分からない。家族が一番良いと考える場所が良い。
- ・今のところ元気なので考えていない。できれば家族といっしょにすごせたらいい
- ・最期の自分の身体の状況によると思うので回答できません。
- ・山中
- ・自身の状況で家族の判断に委ねる
- ・自身の認知度による
- ・自宅に居る事が出来るうちは居たいが介護者に負担が大きくなったら医療機関へ行きたい
- ・自分の状態によって違うかなと思います。家族に負担が、かかる状態なら、施設の利用、頭がしっかりして、動けるなら、自宅が良いかと思う。でも、家族に迷惑がかかる状態なら、施設利用良いかと思う。
- ・実際にそうなった場合に状況によっては希望通りにならない事もあるので難しい問題です。
- ・周囲に迷惑をかけない場所
- ・出来る限り自宅で
- ・状況による、自宅 or 医療機関
- ・人がいないところ
- ・他人に迷惑を掛けない所ならどこでも。
- ・体の状態による
- ・病気なら病院、老衰なら自宅等その時による
- ・病気の重さによる
- ・迷惑を掛けない場所